



The Badminton World No. 140 1981



The Badminton Association of England presents the
ALL ENGLAND CHAMPIONSHIPS
 Wembley Arena 25th—29th MARCH 1981



●女子ダブルス優勝

Nora Perry

ノラ・ペリー (イングランド)

Jane Webster

ジェーン・ウェブスター (イングランド)



●男子ダブルス優勝

Kartono

カルトノ (インドネシア)

Heryanto

ハリヤント (インドネシア)



●混合ダブルス優勝

Nora Perry

ノラ・ペリー (イングランド)

Mike Tredgett

マイク・トレジエット (イングランド)

カールトン、全ダブルスを制覇!!

カールトンは'81全英選手権大会の全ダブルスを独占しました。しかも、ファイナリストのうち50%がカールトン・ラケットを使用、ここでも**特殊ステンレス・スチール・フレーム**の優秀性が見事に実証されました。

STAINLESS STEEL

ステンレス・スチール

カールトン3.7シリーズのフレームは、特殊ステンレス・スチールで作られています。独自に開発されたこのステンレス・スチールは、反撥力、耐久力、そしてスイートスポットの広さと全ての長所を備え、理想的な素材とされています。このタグのついたカールトン3.7シリーズはあなたに最高のプレーを保証いたします。



New
3.7S

¥12,500

(ヘッドカバー付)
●フレーム：ステンレススチール ●シャフト：カーボン(テーパー) ●グリップサイズ：3½, 3¾



3.7X

¥10,500

(ヘッドカバー付)
●フレーム：ステンレススチール ●シャフト：スチール(フラット) ●グリップサイズ：3½, 3¾



3.7

¥9,800

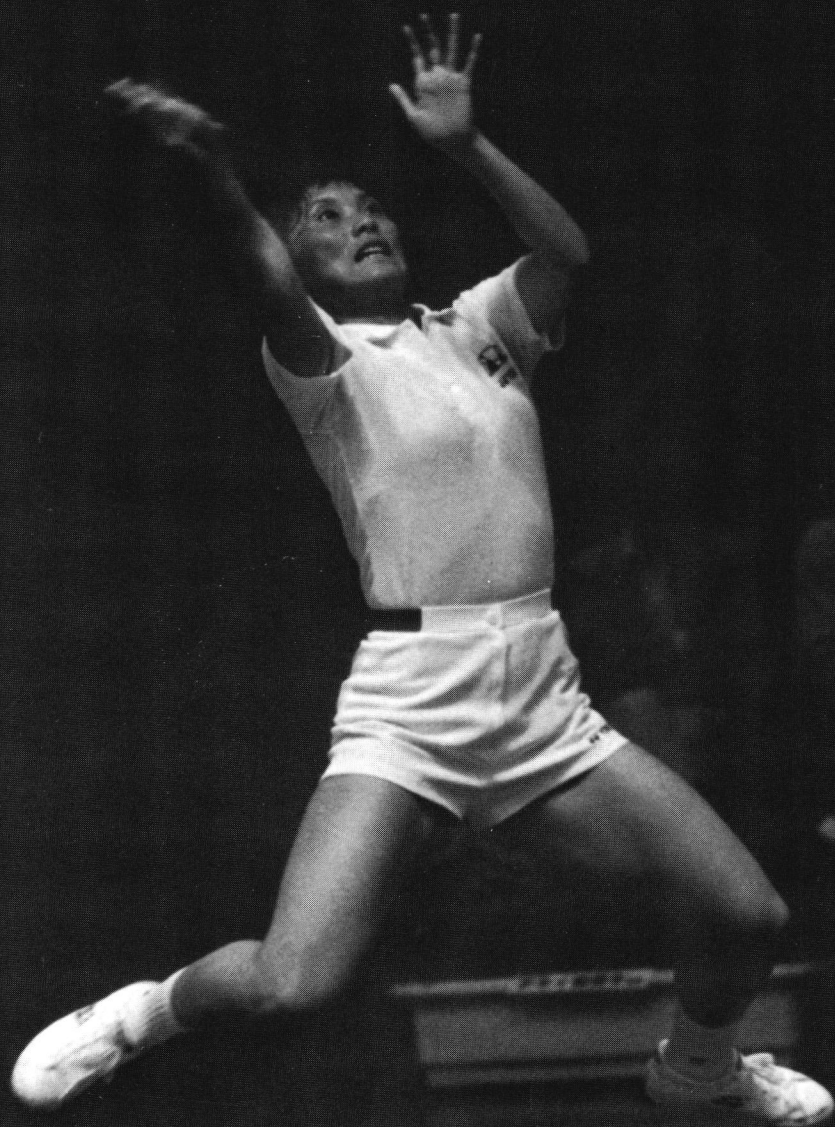
(ヘッドカバー付)
●フレーム：ステンレススチール ●シャフト：スチール(テーパー) ●グリップサイズ：3½, 3¾



その一瞬、思わず駆け寄る日本チーム

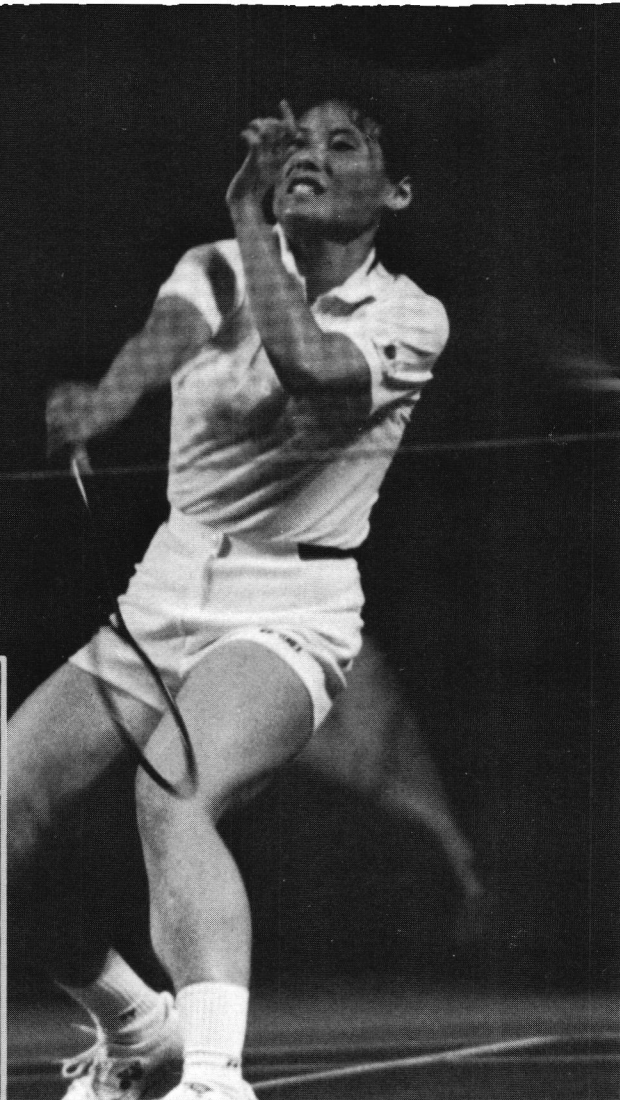
日本5度目“王座”を守る



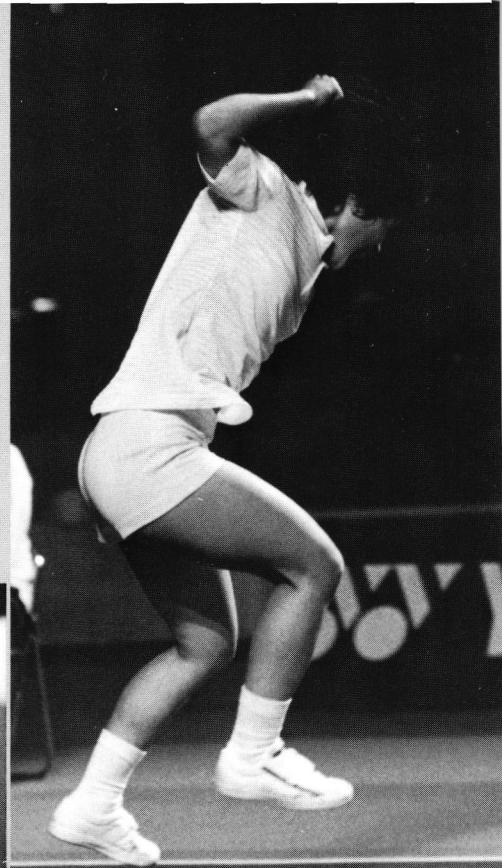


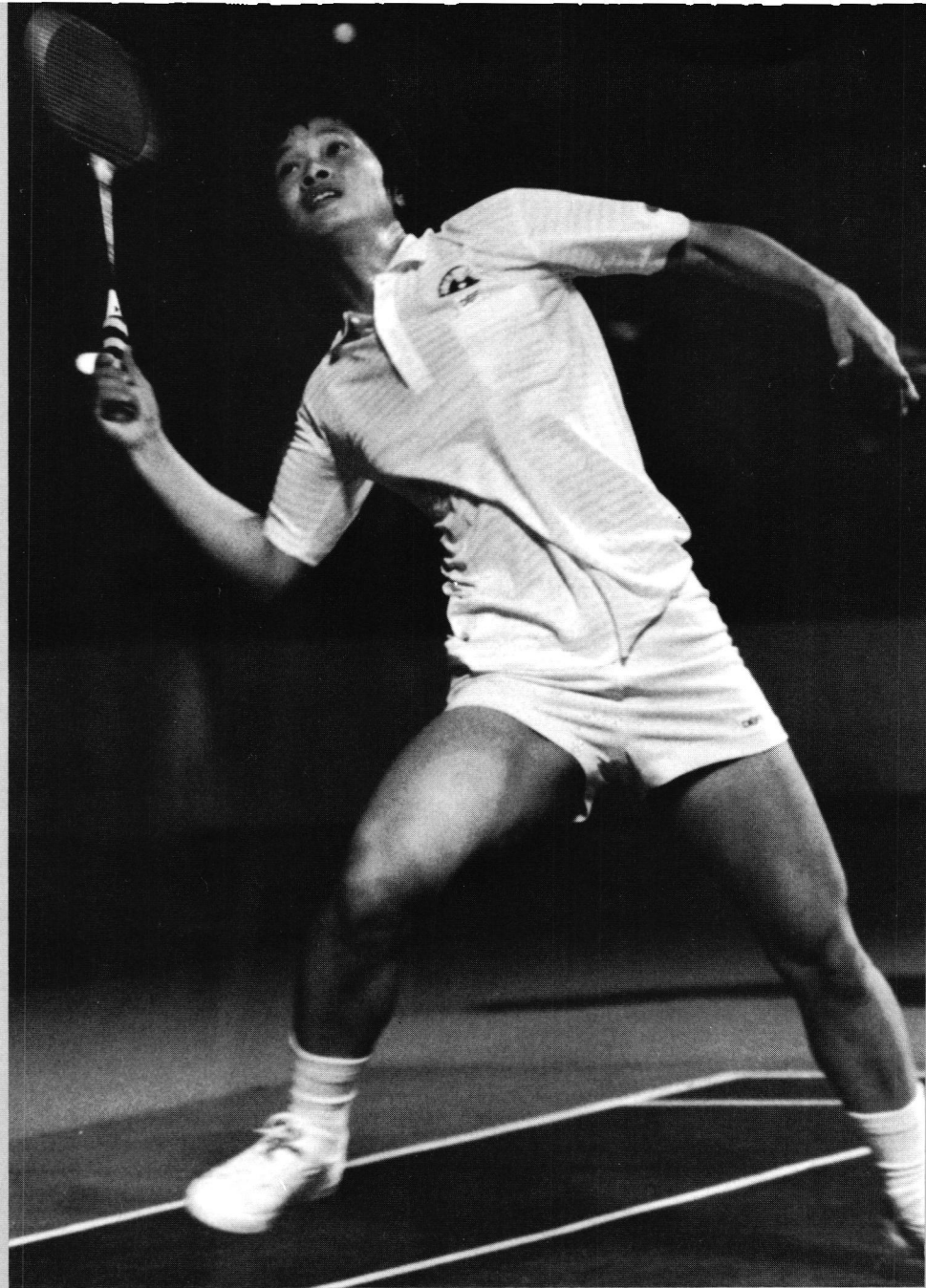
重責果たしたキャプテン徳田

キャプテンの重責を果たした徳田

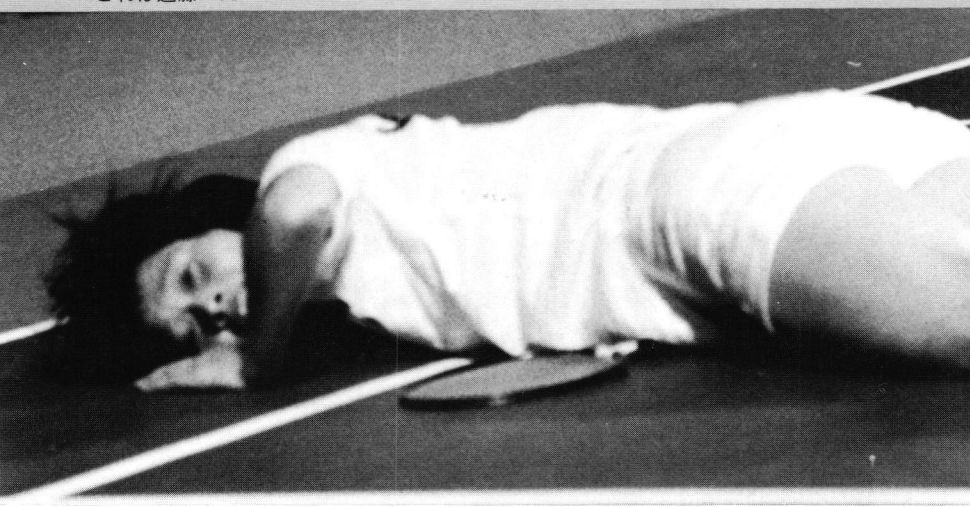


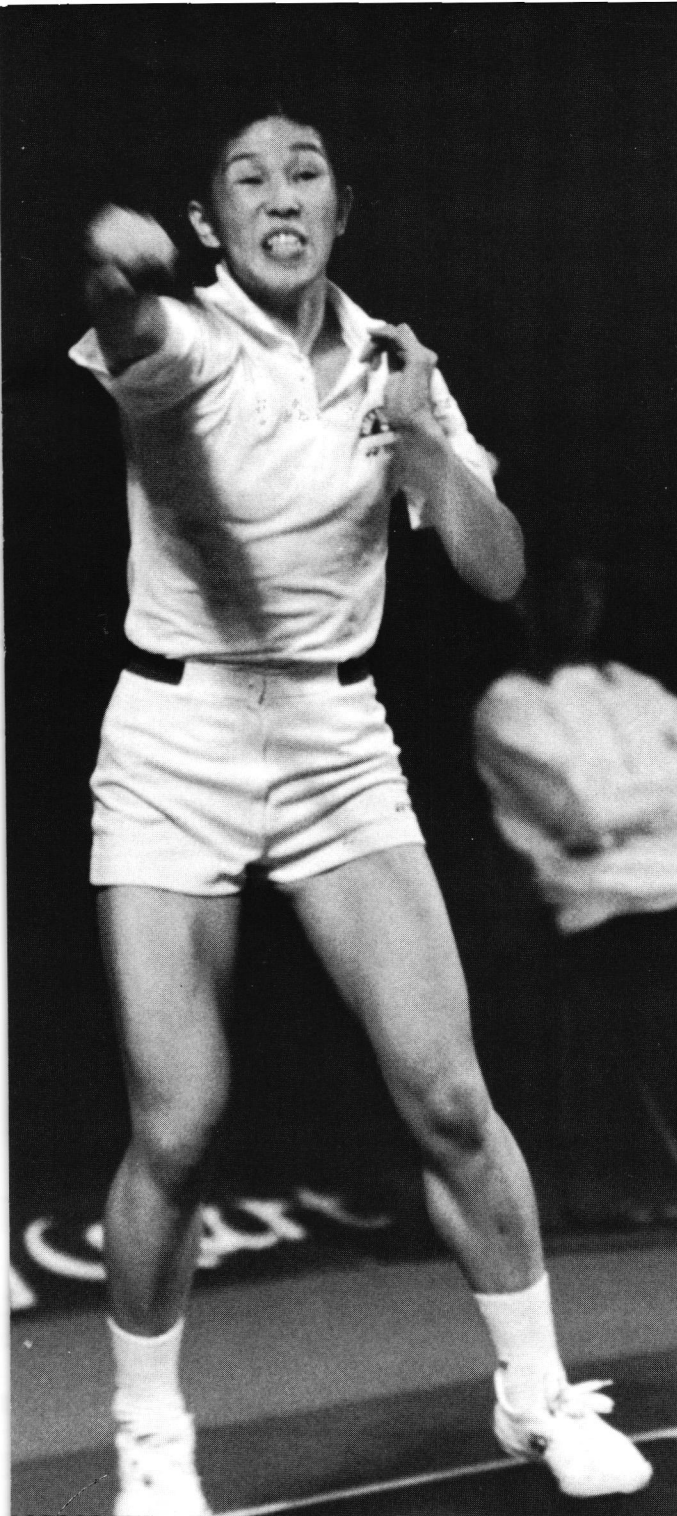
斬り込み隊長、近藤



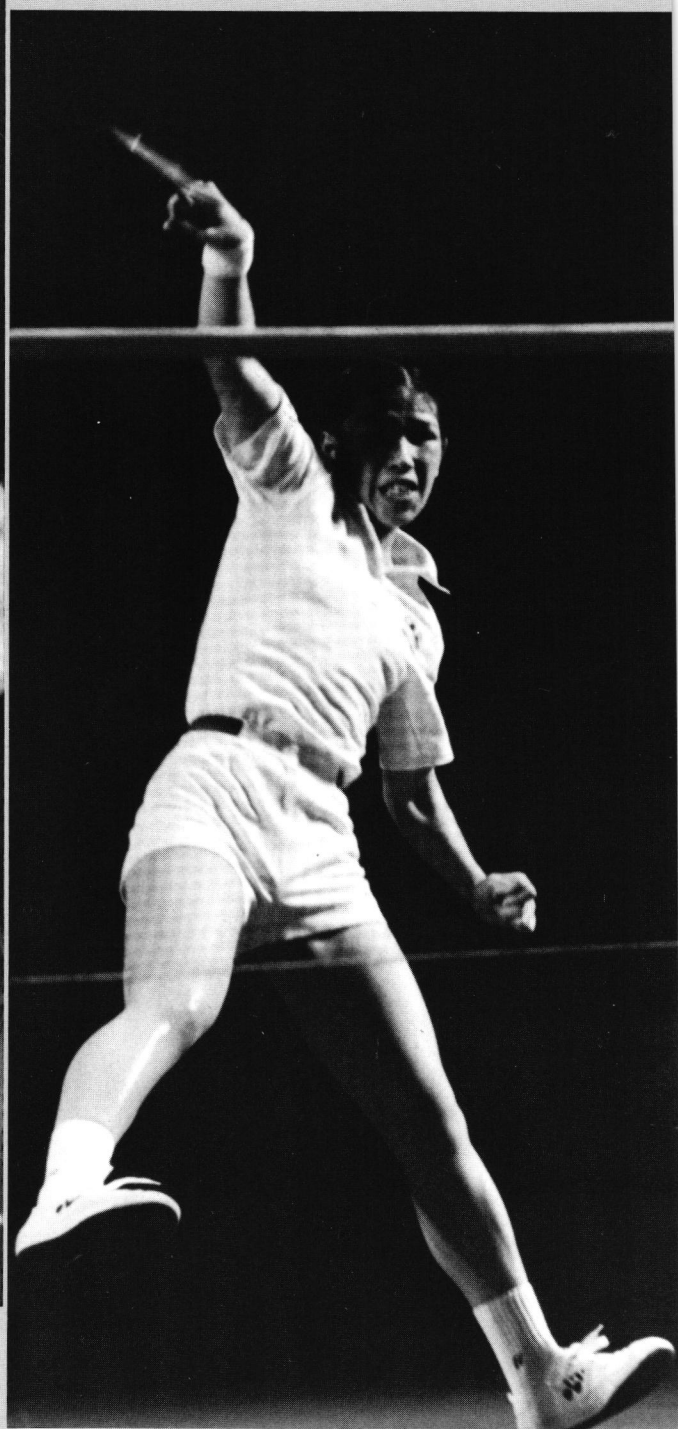


これは近藤の死んだふり

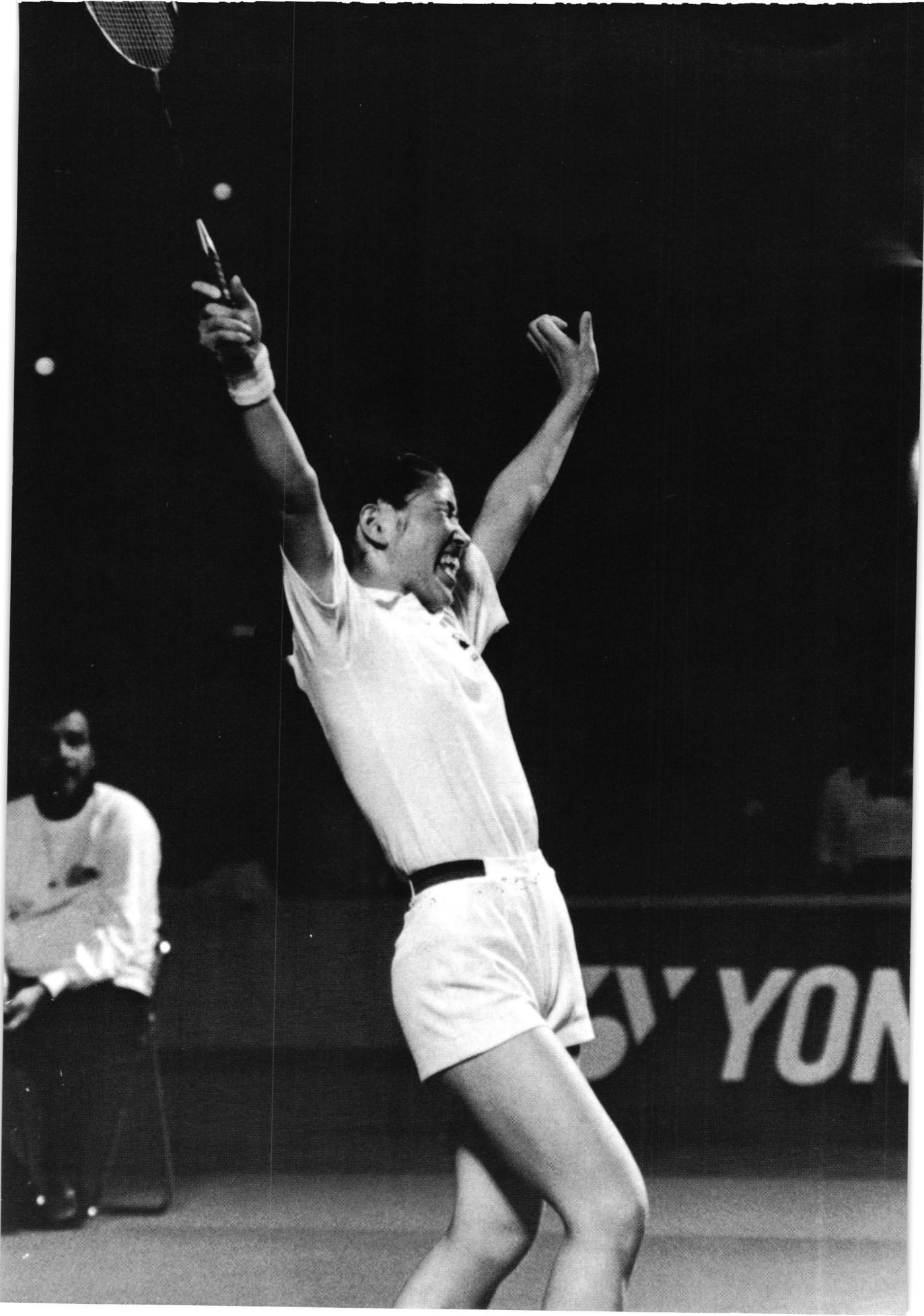




今にも泣き出しそうな表情だった米倉



努力が実った米倉



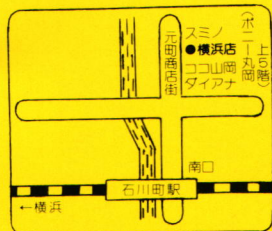
勝利へひた走る鮮烈のプロシヨップ

ラケットショップ元町®

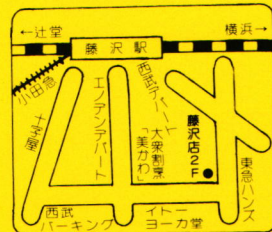
ご要望があればどこへでも、
最高のスタッフが……!!

とんで! まわって!
コーチして!!

無料巡回コーチング・サービス



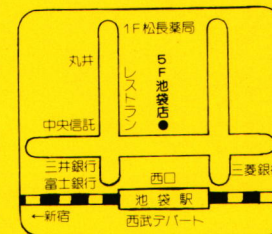
● 横浜店



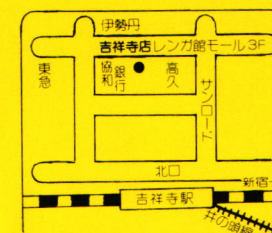
● 横浜店



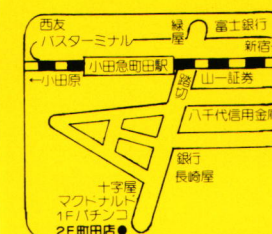
● 横浜店



● 横浜店



● 横浜店



● 横浜店



®



「ユーバー杯」特集

①～⑦, ⑱～㉑ ②⑧～③①, ④①～④⑧ オールプレイヤー写真集

⑩ 日本、5度目の王座	③⑦ 韓国のマネージャーは日本人
⑭ 挑戦権はインドネシア	③⑧ ワールドゲーム 組み合わせ決まる
⑯ インドネシア幸先よいスタート	
③③ 日本、カナダに完勝	
③④ 選手のみなさんご苦労さま	
③⑤ 黄選手に年金が	



●5月30・31日(代々木第1)

日本6 単4-1 インド
複2-2 3 ネシア

▼第1日目

近藤小織2 11 10 11 7
3 12 1 イバナ

所要時間..第1ゲーム15分

第2ゲーム15分
第3ゲーム7分

米倉よし子 1 6 2 11 2
11 11 2 イ

所要時間..第1ゲーム11分

第2ゲーム10分
第3ゲーム16分

近藤小織 1 3 12 15 11
15 15 11 イ

所要時間..第1ゲーム18分

日本 VS インドネシア

日本、宿敵インドネシアと白熱の大試合

初日は全試合ファイナル

第2ゲーム23分
第3ゲーム12分
徳田敦子 15 15 17 18
米倉よし子 2 11 11 1
15 7 テレシア

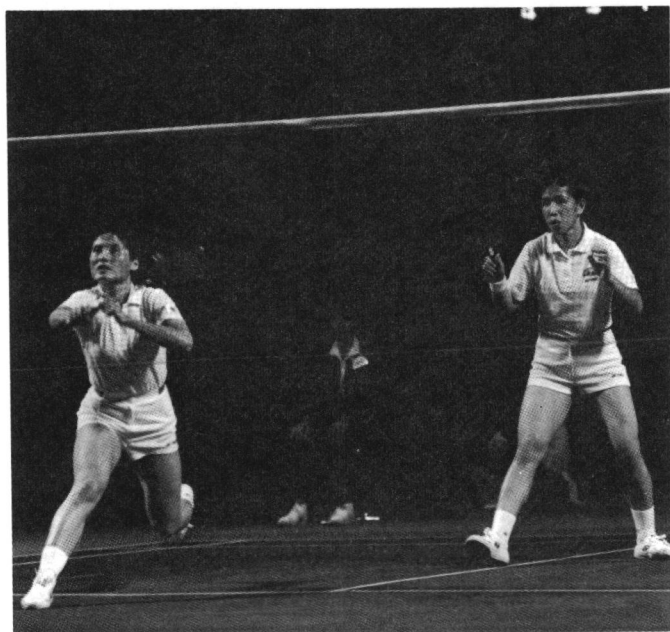
所要時間..第1ゲーム26分
第2ゲーム19分
第3ゲーム17分

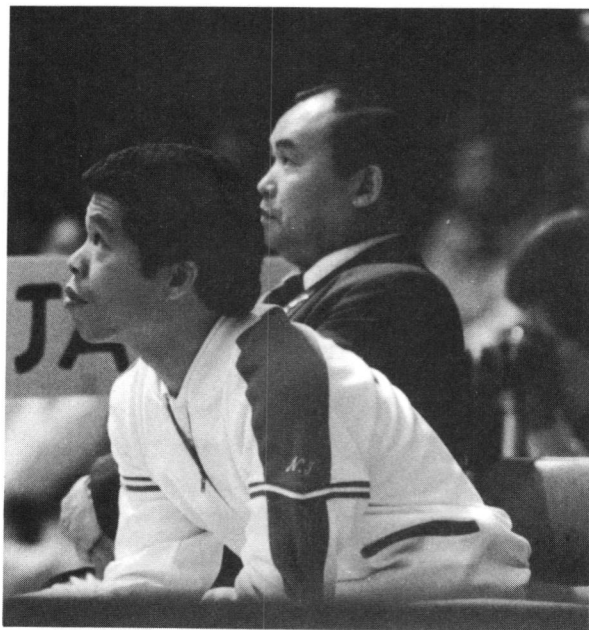
日本と、激戦の準決勝を勝ち抜いてきたインドネシアの決勝は、まれに見る大接戦となった。一部には「日本不利」という声も聞かれたが、ダブルスで勝敗の行方が僅かに予測できるだけ、シングルスはやってみなければまったく見当がつかないというのが実感だった。しかし、初日にその杞憂を吹き飛ばしたのが近藤。

イバナとの第1シングルス、近藤は立ち上がりに苦しみ、ネット前のミスが目立って1-7とリードを許したが、中盤から立ち直ってよく拾いイバナのミスを誘い逆転、ゲームポイントからは得意のジャンプスマッシュを決めて第1ゲームをもぎ取った。

第2ゲームは、今度は近藤が先行して4-0、8-4と主導権を握ったのだが、イバナも必死にセッティングに持ち込み、ヘアピンをネットインするなど幸運も手伝ってファイナルゲームへ。

だが、速い攻撃に弱いと見たか、近藤はファイナルになってからはスマッシュ攻撃に出て3-0、8-2と大量リードを奪





うことに成功。
終盤は、ジャンプカットを出す余裕も生まれて、イバナの追撃を許さなかった。
両者、死力を尽しての熱戦だったが、攻撃することでそのプレッシャーをはねのけた近藤が面目躍如たるところを見せた。
この一勝は大きい。
そして、近藤がこれほど粘り強く、勝負に対して執念を見せたことはなかったのではないか。カナダ戦といい、今大会の近藤ほど頼もしく写ったことはない。

日本にとって頼もしいのが近藤なら、インドネシアにとって頼もしいのがペラワティ。
第2シングルス、米倉対ペラワティもファイナルゲームの大試合となった。
ペラワティは第1ゲーム、自らのスマッシュミス、クリアミスなどの凡ミスで自滅したが、第2ゲームからは持ち前の強打が適確に決まり出し、手がつけられない好調子。
いつもは表情を変えないペラワティが、1本決めることにガ

ッツポーズ、「ヤッ」「ヤッ」と声を出す気合いを示し、自分がやらねばのファイトがありありとうかがえる。
米倉も、ファイナルゲームにはいったん5-4と逆転に成功したが、ペラワティの気迫に押されるように消極的になってストロークに力がなくなってしまう。
これで、第1日目は2-1のタイスコアで順当に収まるかと思われた。
また、結果はその通りであった。

しかし、残るダブルスの内容は、結果とは裏腹に波乱に富んだ、団体戦ならではのスリリングな経過をたどった。
これが「ユーバー杯」だったのだ。

技術だけでは勝てない、調子だけでは勝てない、ネームバリューだけでは勝てない、恐しいまでの団体戦特有の、観衆と選手が一体となって盛り上がる、熱病のようなムード。

全英オープンであれ、これほどのプレッシャーはない。
ある意味では、これが「バドミントン」なのかも知れない。「窮鼠（きゅうそ）猫をかむ」のような状態で、いかに冷静さを

保つことができるか、なのである。

絶対有利と思われた、第1ダブルスのペラワティ組、第2ダブルスの徳田組が、一瞬たじろぐ様はネズミに飛びつかれたそれだった。

ペラワティ組は、近藤組の攻撃に受け身になったまま、攻めることを忘れ、徳田組はまる組を攻め急いでベースを乱し、

でシングルスのようなイメルダ観衆は何度、大番狂わせが脳裏をかすめたものか。

第1日目を終えて、ますますユ杯の行方は混沌とする。

明日は近藤対ペラワティのシングルスがすべてではないか、勝った方に流れは傾き、一気に決着がつくのではないかというのがもっぱら支配的な見方であった。

◆ユーバー杯大会優勝国・準優勝国

回	年	優勝	準優勝
1	1956~57	アメリカ	デンマーク
2	1959~60	アメリカ	デンマーク
3	1962~63	アメリカ	イギリス
4	1965~66	日本	アメリカ
5	1968~69	日本	インドネシア
6	1971~72	日本	インドネシア
7	1974~75	インドネシア	日本
8	1977~78	日本	インドネシア
9	1980~81	日本	インドネシア



5度目の栄冠、日本 「ユベ杯」を全力で死守

近藤がベラワティイ破る

▼第2日目

近藤小織 2 11 6
11 8 0
イ ペラワテ

所要時間…第1ゲーム14分
第2ゲーム19分

徳田敦子 2 11 4
11 9 0
ミラ タティス

所要時間…第1ゲーム11分
第2ゲーム20分

米倉よし 2 11 3
12 11 7 1
9 7 1 イバナ

所要時間…第1ゲーム16分
第2ゲーム18分

徳田敦子 15 9
12 9 15 2
15 15 イ、ダマ
ヤンティ

所要時間…第1ゲーム16分
第2ゲーム19分

第3ゲーム16分

近藤小織 2 15 8
15 11 0
イメルダ、
高田幹子 テレシア

所要時間…第1ゲーム14分
第2ゲーム20分

明暗を分けると思われる近藤
対ベラワティイ戦が始まった。
強打を警戒する近藤は、ネット勝負を避けて高くレシーブ、

丁寧な配球でスタート。
ベラワティイは、昨日までの好調さがウソのようにサイドアウ

トが多い。
5-8、6-9とあと一歩ま

で詰め寄りながら、ベラワティイのショットは僅かにサイドドライ

ンを割って苦しそう。

昨日まで元気のよかったベラワティイの声も、今日はなぜか弱

タしい。

近藤がゲームポイントを握ると、またもクリアーをサイドアウトして、一歩近藤がリード。

ベラワティイは、第2ゲームに立ち直ってスマッシュ、カットを左右に打ち分けてリードを奪い優位に立ったが、今日はカットミスが多いのが目立つ。

恐らく、緊張のあまり肩も手首もスムーズに回らないのだろう。

近藤は、そのベラワティイのカットミスに乗じて、5-8から7-8とし、走りに走って転倒して返球したポップフライがベラワティイのイージーミスを呼んで、にわかにムードは近藤に傾き8オール。

まさに、近藤の気迫がベラワ

午後3時23分。その瞬間 米倉は両手を上げて

米倉は、イバナに対する第1ゲーム、何とクリアーミスが7本も出てしまったのだ。これでは試合にならない。イバナのショットは、スマッシュ、カットとも小気味よく決って一方的なゲームとなった。しかし、不幸中の幸いは米倉の最後の粘り。

イバナのゲームポイントを押さえてから、サーブスオーバーを8度も繰り返し、簡単には負けない気構えを見せた。これが、第2ゲームにつながった。米倉は、第2ゲーム中盤から完全に開き直って、スマッシュを浴びせ、普段は見られないよ

うなバックスマッシュを決めるなど、4-7から一気に逆転、本来の米倉のスピードを取り戻した。イバナは、もう明らかに浮き足立っていた。点差こそ開かなかったが、イバナは眼光を失い、集中力を欠いていた。

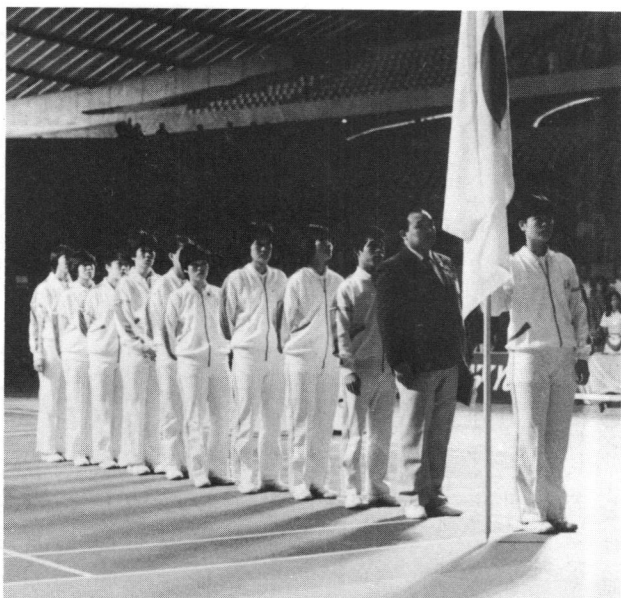
今にも泣き出しそうな顔つきだったが、米倉は相手を見据える力を失ってはいなかった。ファイナルゲーム、イバナはスピンサーブを駆使して4-7から9-7といったんはリードを奪ったが、米倉は思い出したように速攻に転じ、第2ゲーム再戦を演じた。

イバナの逃げ道は、ネットだけしか残さされていなかった。そのヘアピンが浮いたところを、米倉が攻め込みセットイング。米倉はそれでも攻撃の手を緩めない。スマッシュを決め、イバナのヘアピンをアッシュで決め、最後は米倉の絶妙のヘアピンをイバナがネットへひっかけて、激しい戦いにピリオドが打たれた。5月31日、3時23分。長い戦いだった。苦しい戦いだった。5対2で決着がついたものの、そのうち5試合がファイナルゲームであった。

ティを圧倒した感があった。近藤は、その後も打つことより丁寧な配球と拾いまくることに終始し、10-8から3度目のマッチポイントを長いラリーの末にモノにして、貴重な白星を飾った。両国のベンチの明暗は、これでハッキリ。日本ベンチに笑顔が戻り、インドネシアは声も出ない静けさとなった。しかし、まだまだ予断を許さない。ダブルスはどう転ぶか判らないのだ。

昨日、試合終了後、小飼監督は「シングルスで決めたい」と語っていたが……。ここで、日本はキャプテンの徳田が登場。相手も、やはりベテランのタティ・スミラ。第1ゲームは、タティの体が重く動きが遅いところを攻め徳田の楽勝。そのままでの流れは、しかし長くは続かなかった。徳田は第2ゲームになるとイージーミスが多く、2-2から胃が悪くなるような競り合いが続き、8オールまで併走状態と

なった。タティのスタミナも、しかしここまで。長いラリーに耐え切れなくなったように、タティはクリアーをミス、徳田は遂にマッチポイントを迎えた。苦しまぎれのタティのスマッシュで9-10とされたものの、2度目のマッチポイントで勝利を握り、やっとユ杯へ「王手」をかけたのだ。しかし、優位に立ってから苦しむのがこの大会の特色。米倉も決して例外ではなかった。



“日本防衛”で聞く君が代はまた格別



●5月26・27日(愛知県体育館)

インド 単3-2 イギリ
ネシア 複2-2 ス

▼第1日目

ペラワテ 2 11-5 ウェブス
イ 11-5 ター

所要時間…第1ゲーム10分

第2ゲーム14分

イバナ 2 11-12 リードビ
11-6 0-11 ター

所要時間…第1ゲーム16分

第2ゲーム12分

ペラワテ 11-15 ペリー、
イ、ダマ 2 15-5 1ウェブス
ヤンティ 18-13 ター

所要時間…第1ゲーム12分

第2ゲーム10分

第3ゲーム21分

イメルダ 1 15-9 リードビ
4-15 6-5 2-11
テレシア 15-6 2-11
マン

インドネシア
VS
イギリス

インドネシアが 日本への挑戦権 ペリー組敗れる波乱

所要時間…第1ゲーム19分

第2ゲーム13分

第3ゲーム14分

さあ、いよいよ日本への挑戦権を賭けて、伝統あるイギリスとインドネシアの対戦である。

オーダーを見ると、インドネシアのダブルスに、マレーシア戦と同じくペラワティとダマヤンティが組んでいる。

ペラワティに若い力に加え、イメルダにはベテラン同士のテレシアを配して、持ち味を十分に引き出すのが狙いらしい。

インドネシアらしい思い切った手を打ってきた。

この組み替えは、来日5日前と聞くと二度ビックリ。

なお、イメルダとテレシアは第7回大会でコンビを組み、湯木・池田組、相沢・竹中組を破

り、インドネシア優勝へ大きく貢献している。

試合は、ペラワティ、ウェブスターの両国ナンバー1同士のシングルルスでスタート。

だが、これはペラワティの近來にない出来と、一球ごとに声とガッツポーズを繰り返す気合に、ウェブスターの高い打点からの揺さぶりも通用せず、あっさりインドネシアに軍配が上がった。

勝負がが然熱を帯びたのは、イバナ対リードビーターの第2シングルス。

これに敗れると、インドネシアはダブルスに未知な部分が多いため、たちまち窮地に追い込まれ浮き足立つことも考えられる。

第1日目の大きなヤマ場である。

ゲームは、両国の重苦しいムードを一身に背負って、一進一退。

イバナが2-0とリードすると、リードビーターが4-2と逆転するといった具合。

長いラリーに打ち勝って、イバナが主導権を奪ったかと思うと、今度はリードビーターのクロススマッシュが決まって、終盤まで競い合いが続く。

7-8から、イバナはスピンスービスを出して連続してリードビーターのミスを誘い、一気にゲームポイントを取った。

それでも、リードビーターはセッティングに持ち込む粘りを見せたが、終始イバナに振り回された受け身の体勢を逆転することができず、大事な第1ゲームを落としてしまった。

大接戦の末、第1ゲームを先

取したイバナは、第2ゲームになると得点のクロスネット、ジャンプスマッシュを放つようになり、思い切りが目に見えて良くなる。

単発的に、リードビーターもクロススマッシュで応戦するが、余裕の出たイバナをとらえるまでは至らず、第2ゲームは完全に力負けだった。

順当といえば順当だが、この第1ゲームをリードビーターが先取していれば、ムードが大きく左右する団体戦の結果はどうなっていたか……、2日目になってこの勝敗の重味が判ることになる。

インドネシアにとって、嬉しい誤算となったのがペラワティ・ダマヤンティの新コンビ。

自他ともに認める実力世界一のペア、全英チャンピオンズのペリー・ウェブスター組を破る大殊勲を挙げたのだ。

このゲームの大きなキーポイントは、今大流行の「スピンスービス」だった。

第1ゲームは、インドネシアペアを手こずらせていたウェブスターのスピンスービスが、第2ゲームからミスを続発。

これに対し、若いダマヤンティのスピンスービスは、試合が

進むにつれ大きく変化し始め、ペラワティの大砲のようなスマッシュを呼んで、第3球目攻撃。ゲームオールで迎えたファイナルゲーム、インドネシアは8-12の劣勢をこの速攻で挽回し、遂にセッティングに持ち込み、その勢いで一気にイギリスペアを押し切ってしまった。

まさに溟濤のような攻撃力であつた。

前衛で「魔術」をあやつるペリーも、この勢いを止めること

▼第2日目

タテイス 0 5
ミラ 3 11 2ブリッジ

所要時間…第1ゲーム10分

第2ゲーム10分

ペラワテ 2 11
イ 11 4 リードビ

所要時間…第1ゲーム8分

第2ゲーム7分

イバナ 1 11 6
ウエブス 11 3 2

所要時間…第1ゲーム15分

第2ゲーム13分

イメルダ 0 8
テレシア 8 15 2ウエブス

所要時間…第1ゲーム15分

第3ゲーム23分

ペリー、

はできなかった。

強力コンビの誕生と同時に、インドネシアベンチはもう勝利が決まったかのような喜びよう。イギリスが、第2ダブルスに

勝って反撃のノロシを上げても、それは誰一人、疑う者がいない

ことのように思えた。

インドネシアにとっては、勝

てるゲームは全部勝ち、おまけにペリー組から1勝を挙げたのだから。

所要時間…第1ゲーム12分

第2ゲーム15分

ペラワテ 15 15
イ、ダマ 2 12 5 リードビ

ヤンティ 15 12 0 チャップ

マン

所要時間…第1ゲーム11分

第2ゲーム14分

前日、3-1とリードしたインドネシアが、これほど苦しむとは。

ペテランのタテイスミラが、長身のブリッジに手も足も出ない完敗を喫した後、ペラワティは僅か15分でリードビーターを

降し王手をかけた。

が、期待のイバナは勝利を目前に固くなったのか、終始消極

的なプレー。

ウエブスターの、サウスボー

からのカットショットに動きが止まりアップアップの状態となった。

第2ゲームこそ、やっと積極

さを取り戻したが、ファイナルはまたプレッシャーとの戦いになった。

この日のイバナは、リードさ

れているときはまだ開き直りが見えるのだが、追いつくと途端に弱気になる傾向。

ファイナーゲームも、3-0

とイバナのリードで始まったが、たちまち3オールと追いつかれ

4-8、7-10と先手を奪われて絶対絶命のピンチに追い込まれた。

ここでイバナは、思い出したようにスピンスービスを繰り出し、これが見事に的中、一気に

セッティングへ持ち込んだ。

しかし、イバナは4度もマツチポイントを抑えながら、セツ

かくスピンスービスで追いついているのに、セッティングにな

ってからはこれを使わずロングハイサービスで一点張り。

みずからのリズムを、みずからが放棄したような、理解に苦しむ戦法で、最後はネット際の

チャンスボールをミスして自滅

してしまった。

若さのせい、団体戦に弱い

のか、ペラワティの充実ぶりとは好対照なイバナの精彩のなさだった。

ペリー組とイメルダ組の勝敗

は、実力差から当然とえば当然だが、敗れたイメルダ組が日本戦を想定してか、オールクリ

アーというような、レシーブに徹したプレーを見せたのが不気味な印象を受けた。

しかし、これで4-4のタイスコア、最後のヤマを迎えることになる。

対戦相手から見れば、ペリー組を破ったペラワティ組と、イギリスのナンバー2のペアでは、結果は火を見るよりも明らかな

のだが、これがエキサイティングな場面を迎えるのだから、団体戦とは恐ろしいものだ。

第1ゲームを簡単に先取したペラワティ組は、第2ゲームも得意の速攻が冴え、あつという間に14-5とマツチポイントを抑

握った。

しかし、最後の一本がなかなか取れない、サービス権は握る

のだが、焦りがありとうかがえる。

ジリジリと追い上げるイギリスペアに、14-12まで挽回され

会場には興奮さえずる巻く熱戦に早変わりした。

ここまで追いつけると、今度はイギリスペアにもプレッシャーがのしかかる。

それまでの伸び伸びした動きが急に鈍くなり、消極的な返球がネットへひっかり万全休す

それにしても、終盤になって突然顔を出した、意地悪な勝利の女神は、決勝ではどんな表情

を見せるのか、トーナメントの個人戦では絶対見られないような展開となりそうだ。

エキサイトした

インドネシア・スマルソノ監督の話……イギリスが強い国だとは知っていたが、エキサイト

するゲームだった。昨日が2-2なら危ないところだった。

しかし、最後は幸運が我々に味方した。

イバナは自国でやるときと違い、調子が悪かったようだ。

決勝は、日本とは何回もやっているが、何ともいえない。

ペラワティとタマヤンティのペアは、いいコンビが生まれた

と思っている。決勝はもっと良くなるだろう。

最終的には、神が決定を下すことだ。



インドネシア VS マレーシア

インドネシア、 は幸先よいスタート

強力コンビ誕生す

●5月22・23日(代々木第2)

インド 単5-0 マレー
ネシア 複4-0 シア

▼第1日目

ベラワテ 2 11 0
イ 11 5 0
ン キヤサリ

所要時間..第1ゲーム8分
第2ゲーム8分

イバナナ 2 11 11
0 0
0 リーン

所要時間..第1ゲーム6分
第2ゲーム10分

イメルダ、 12 15 15
テレシア 15 4 9
ン キヤサリ

所要時間..第1ゲーム15分
第2ゲーム19分

ベラワテ 15 15
イ、ダマ 2 3
ヤンティ 0 0
イエン カームー

所要時間..第1ゲーム13分
第2ゲーム10分

▼第2日目

タティス 2 11 0
ミラ 11 3 0
ユー クレアチ

所要時間..第1ゲーム8分
第2ゲーム6分

イバナナ 2 11 11
5 0
0 キヤサリ

所要時間..第1ゲーム11分
第2ゲーム3分

ベラワテ 2 11 11
6 0
0 リーン

所要時間..第1ゲーム9分
第2ゲーム6分

イメルダ、 2 15 15
テレシア 15 12 6
エン カームー

所要時間..第1ゲーム10分
第2ゲーム14分

ベラワテ 15 15
イ、ダマ 2 1 0
ヤンティ 3 0
リーン

所要時間..第1ゲーム7分
第2ゲーム8分

第8回のユーバー杯では、マレーシアはアジアゾーン決勝で日本からシングルス2ポイントを挙げ大健闘している。

しかし、そのときの主砲シルビアは数カ月前に交通事故で他界。

大試合の直前に、エースを突然失なうという不運に見舞われたマレーシアの苦戦は、戦前から十分に予想されたことだった。しかも、国際経験に富む選手はキャサリン独りとあつて、ますますその状況の苦しさを察す

ることができた。

案の定、第1回のトップシングルス、キャサリン対ベラワテの試合が、両国の現在の技量の差をすべて物語っているようだった。

キャサリンのサービスで始まった第1ゲームだったが、気合の入ったベラワテに6度のチャンスを得点に結びつけることができず、遂にラブゲームを喫してしまった。

ネットへのミスが多いキャサリンに対し、ベラワテのショットは再三再四ネットインするツキにも恵まれ、一方的なゲーム展開。

第2ゲームは、ようやくベラワテの球筋になったキャサリンが、1-5から5オールまで追いかけたが、そこまでが精

つばいだった。

二番手に登場したロン・チョイ・リーにしても、全力を出し切れないというか、相手を苦しめる一歩手前まで行くのだが、決め手に欠ける試合ぶり、残念ながら両国の差は歴然としていた。

マレーシアにとっては、王座を狙うインドネシアが相手ではちよつと荷が重すぎた。

国際的に無名な選手ばかりで、インドネシアを向うに回してはちよつと分が悪かったようだ。それにしても、ベラワテの意気込みは今までのどの大会にも見られなかったもの、名実ともに「エース」として成長の跡が見られるのは、今後この大会を盛り上げるものとして期待したい。

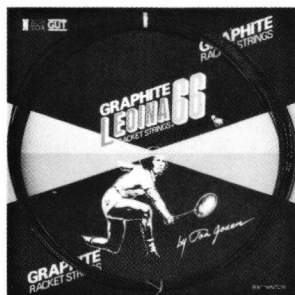


RACKET BADMINTON STRINGS

世界のトーアが贈る
バドミントンガットシリーズ



レオイナ ホーン
LEOINA HORN S



グラファイト レオイナ
GRAPHITE LEOINA 66



レオイナ シープ
LEOINA SHEEP 66



トーア ストリングス
TOA-STRINGS SSW



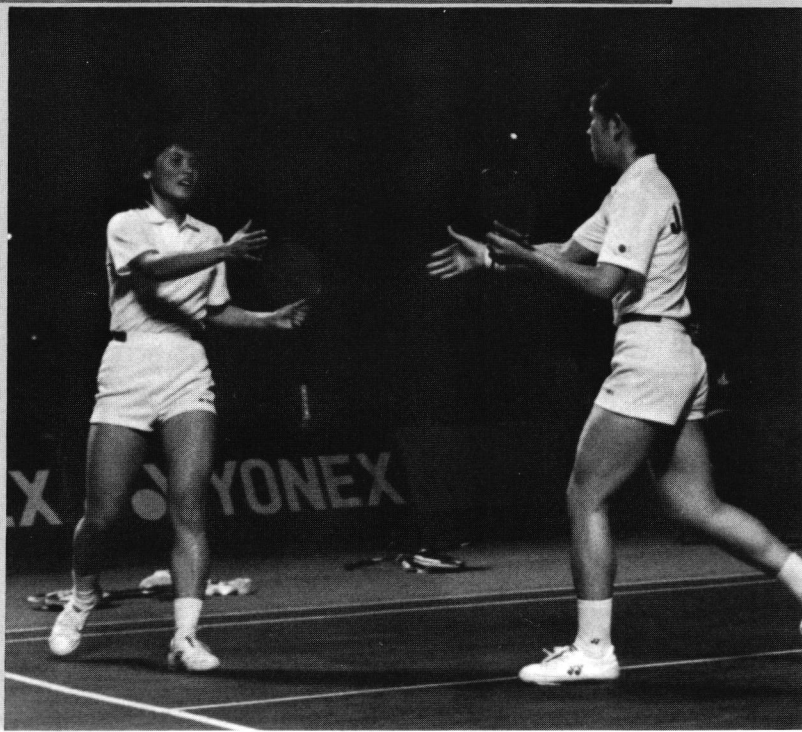
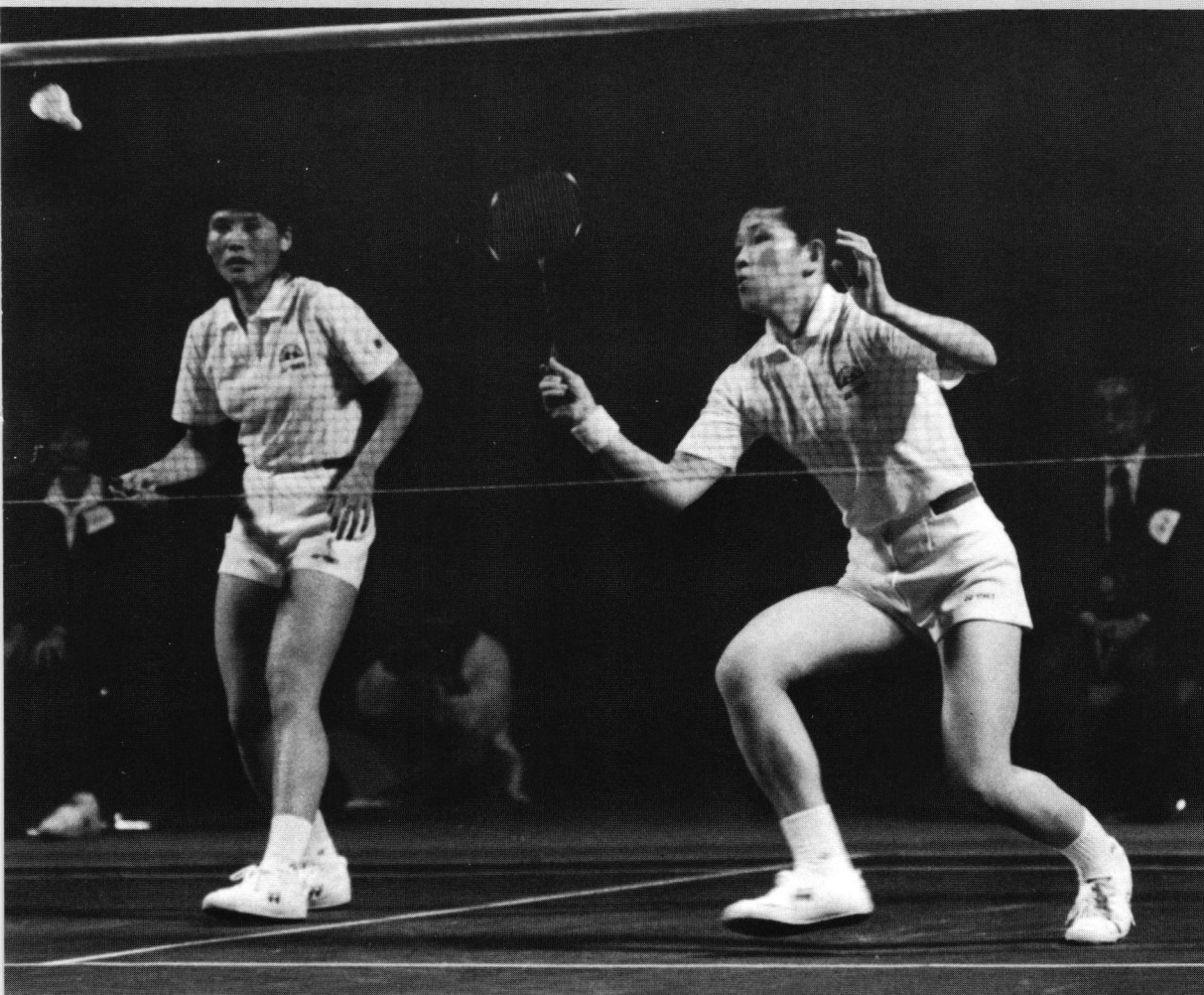
トーア ストリングス
TOA-STRINGS SSW

東亜ストリング株式会社

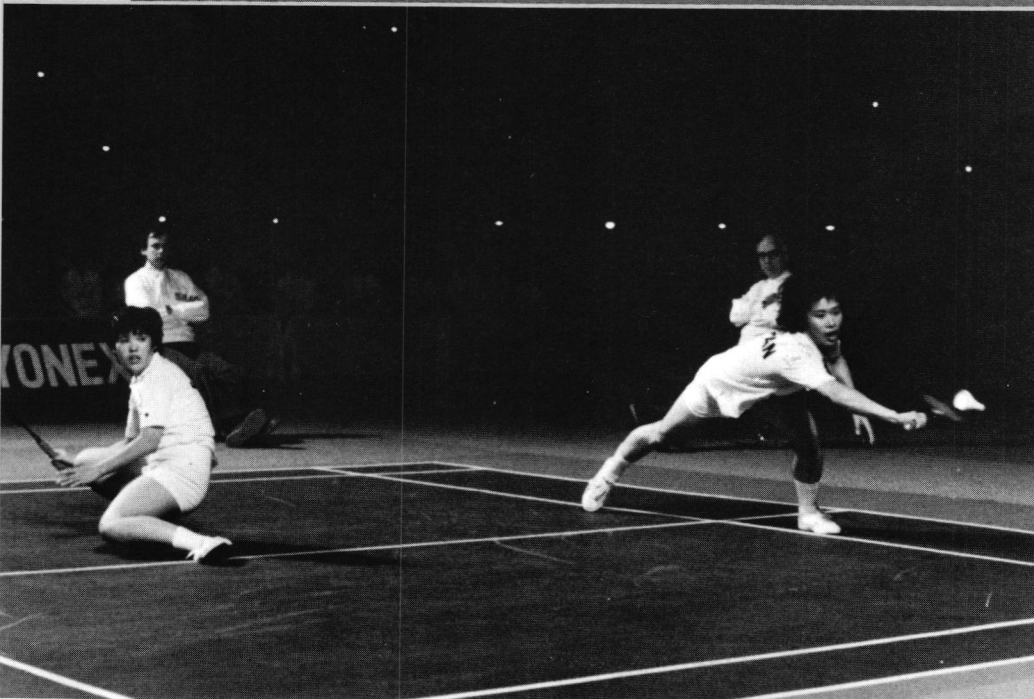
〒651 神戸市中央区八雲通 3-1-24

☎078(232)1991(代)

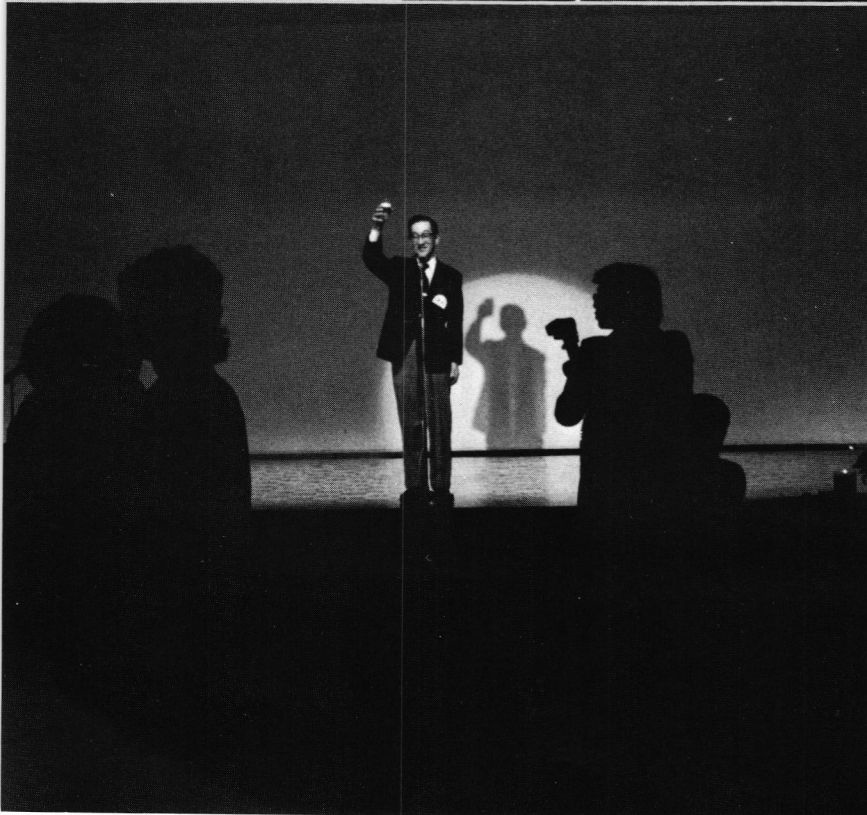
絶妙



コンビは







ビッグ・プレゼントが
ゴーセン

Grand 30 キャンペーン

スポーツをリズムで満たせ。

ヘッドホン型ラジオ AM・FM

毎月300名さま

毎月3,000名さま

スポーツバック
ビッグオリジナル
プレゼント

ゴーセンは今、抽選で毎月3,300名さまにステキなプレゼントが当たるビッグなキャンペーンを実施中です。ゴーセン商品についている **G 30** シール1枚をキャンペーン参加店店頭に応募ハガキまたは官製ハガキに貼付し、郵便番号、住所、氏名、性別、年齢、職業(学校名)、所属クラブ名、お買い上げ店名、住所を明記してご応募ください。お一人さま何口でも結構です。

〈抽選方法〉毎月末に抽選を行います。当選された皆さまにはご当選カードをお送りしますので、お買いあげ店にてカードと引き替えにプレゼントをお受けとりください。

〈送り先〉〒540-91 大阪東郵便局私書箱第459号
株式会社 ゴーセン スポーツ用品部キャンペーン係



●くわしくは、ゴーセンスポーツ用品部、お近くのキャンペーン参加スポーツ店にお問合わせください。

ラケットスポーツで世界をむすぶ

GOSEN

本社 ● 〒540 大阪市東区豊後町4 ☎ (06)942-5816代
東京支店 ● 〒111 東京都台東区蔵前4-14-2 ☎ (03)862-6576代
福岡営業所 ● 〒810 福岡市中央区薬院1-4-8 ☎ (092)712-5247代
北陸営業所 ● 〒921 石川県金沢市横川7-22 ☎ (0762)47-0200代

RB-707
GRABON
707

100%カーボングラファイト
ジョイントレス ¥9,800

PROKENNEX
フロケネックス

8/31まで
モニター 募集中心!

①～③に正しいローマ字をのキ・ワードができあがりまの応募ハガキまたは官製ハ名、郵便番号、住所、氏名、クラブ名、プレイ経験年数、店名、住所を明記のうえ、どう

1字ずつあてはめると、5文字もキャンペーン参加店頭ガキに、キ・ワード、ラケット年令、職業(学校名)、所属日頃ご利用のスポーツ用品をふるってご応募ください。

〈問題〉

1. ゴーセンのハイ・シープは 今やOUTの代名詞です。
2. ゴーセンのウインテックス・ウェアは SP ORTS WEAR のベージック・カラー「あざやかな白」が基調です。
3. ゴーセンのインターナショナル・ブランドといえば PROKENNEX RACK OTです。

〈ヒント〉ゴーセンは皆さまにすぐれたGUT, SPORTS WEAR, RACKETをおとどけるラケットスポーツの総合メーカーです。

〈キ・ワード〉

① ② S ③ N

〈抽せん・発表〉毎月末に厳正な抽せんを行います。ご当選者には当選カードをお送りしますので、ご明記のスポーツ用品店にてカードと引き替えにモニターラケットをお受けとりください。

〈送り先〉〒540-91 大阪東郵便局私書箱 第459号
株式会社 ゴーセン スポーツ用品部モニター・キャンペーン係

ずらり、4店勢揃い。

230坪

渋谷店

760㎡の広々とした店内でゆったりショッピング。

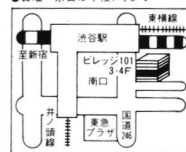


バドミントンコーナー



毎月曜日定休

東京都渋谷区桜丘町1-7(ビル3-4階) TEL03-464-9251~2平150
●営業時間/午前10時~午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで

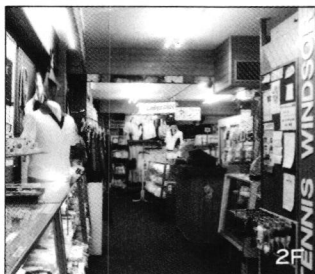
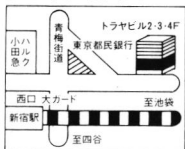


新宿店

落ち着いた雰囲気でお買い物。各階それぞれの楽しさがいっぱい。

毎月曜日定休

東京都新宿区西新宿7-10-20(トラヤビル2-3-4階) TEL03-363-6848平160
●営業時間/午前10時~午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで

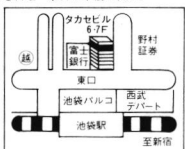


池袋店

つぶ揃いのテニス、バドミントン用品が店内にあふれんばかり。

毎月曜日定休

東京都豊島区池袋1-1-4(タカセビル6-7階) TEL03-989-0401平170
●営業時間/午前10時~午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで



横浜店

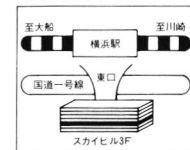
ラケット、ウェア、シューズ……すべてに豊富な品揃え。選びやすい各コーナー。



男性ウェアコーナー

年中無休

横浜市西区高島町2-1 横浜駅東口(スカイビル3階) TEL045-453-1785平220
●営業時間/午前10時~午後8時
●日曜・祭日も午後8時まで



日本最大のテニス・バド専門店
WINDSOR RACKET SHOP

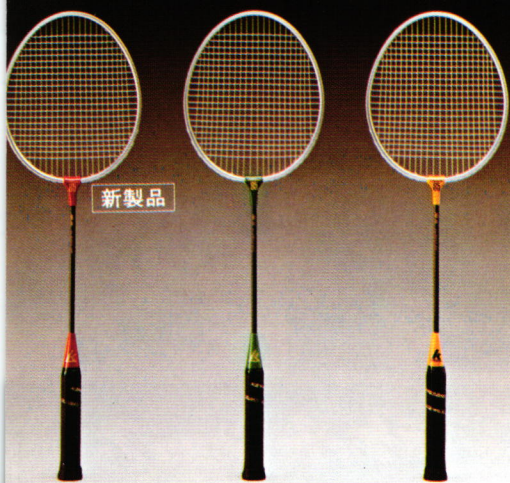


ウインザー ラケットショップ



バーバラ サットン (イングランド)
Barbara Sutton
ユーバー杯代表選手

世界をうならせる。





ベラワティ ウィハルジョ (インドネシア)

Verawati Wiharyo

1980年第2回世界選手権女子シングルス優勝
ユーバー杯代表選手

しなやかなパワーが

独特のグラファイトシャフトは、復元力を限りなく高め、スピードの限界に挑むプレーに適確に応えます。シャフトが強化されて、しかも軽さを徹底的に追求。カラーも鮮やかなRed, Green, Yellowの3色。今、エイトファイブは日本を越えて世界のトッププレーヤーの期待に応えます。

B-85

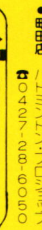
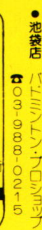
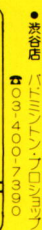
素材: グラファイトシャフト/高力アルミ合金フレーム カラー:
レッド/グリーン/イエロー(ケース付) フレーム価格: 9,500円

エイトファイブ



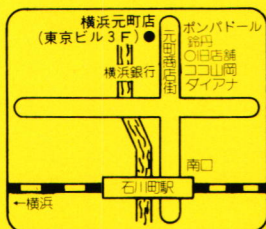
Nice Day with Racket
kawasaki

本社: 〒130 東京都墨田区両国1-10-6 TEL (03) 633-7211 (大代)
大阪支店: 〒550 大阪市西区阿波座1-10-6 TEL (06) 533-0521 (代表)

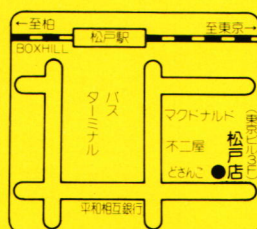


ラケットジョイス元町®

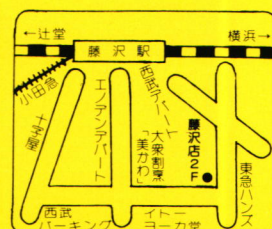
ラケットショップ元町®



●横浜店
デニス
0004455
1116651
6662211
2117920
1800350
370



●松戸店
デニス
0004455
1116651
6662211
2117920
1800350
370

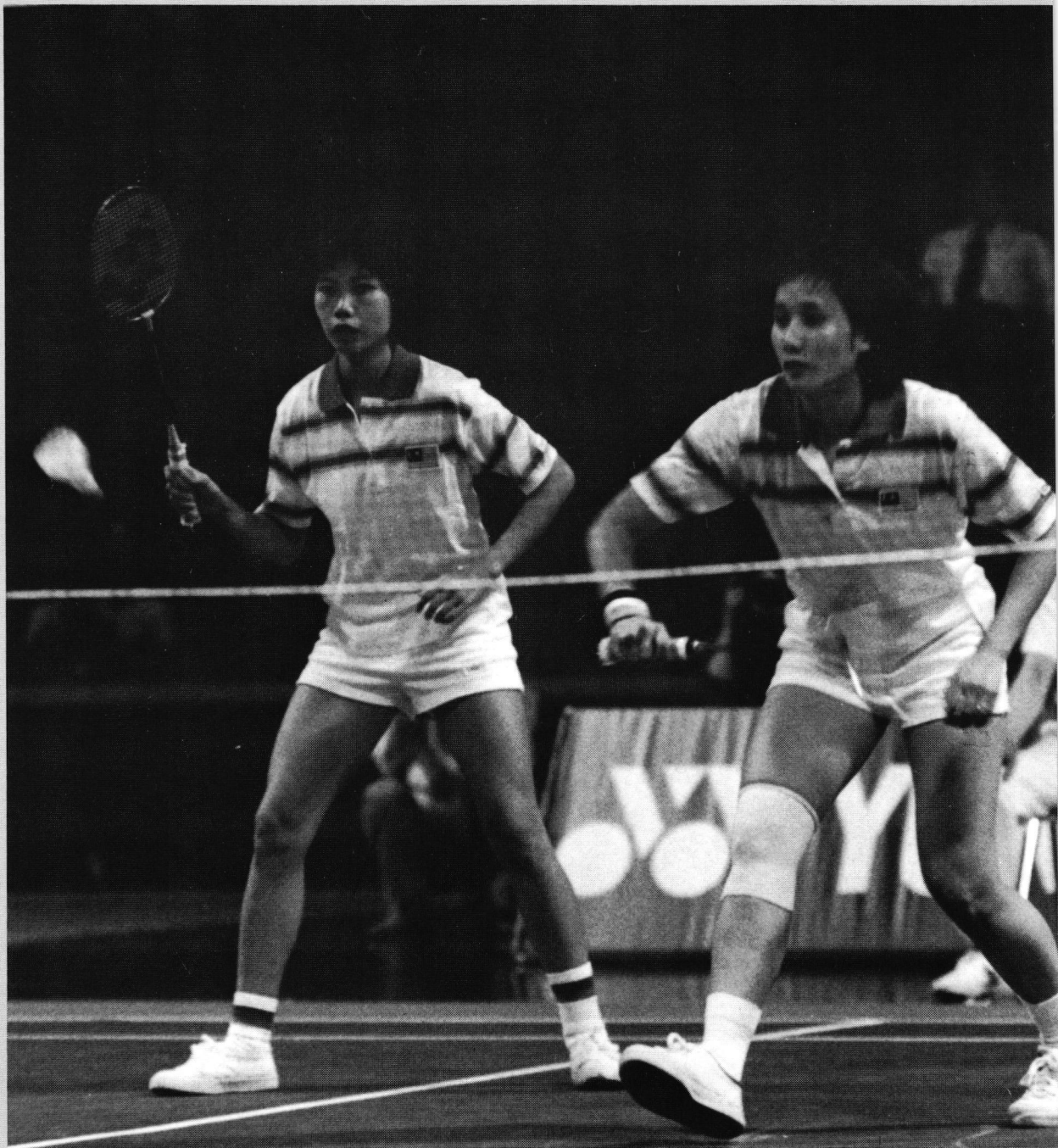


●松戸店
デニス
0004455
1116651
6662211
2117920
1800350
370

君は厳しさに
たえられるか
正社員若干名募集



マレーシアチーム



リーンをうまくリードしたキャサリンだったが

細い体をムチのように使ったリーン



マレーシアを代表するキャサリンも緊張ぎみ

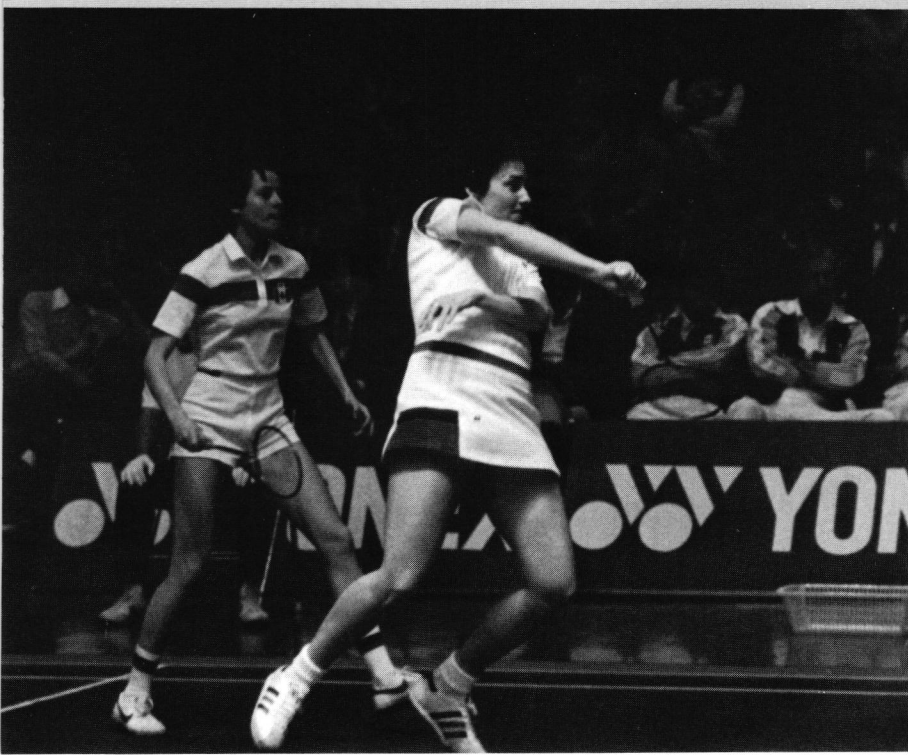




全英ベスト4の実績を持つヤングバード・バックハウス組も元気なし

カナダチーム

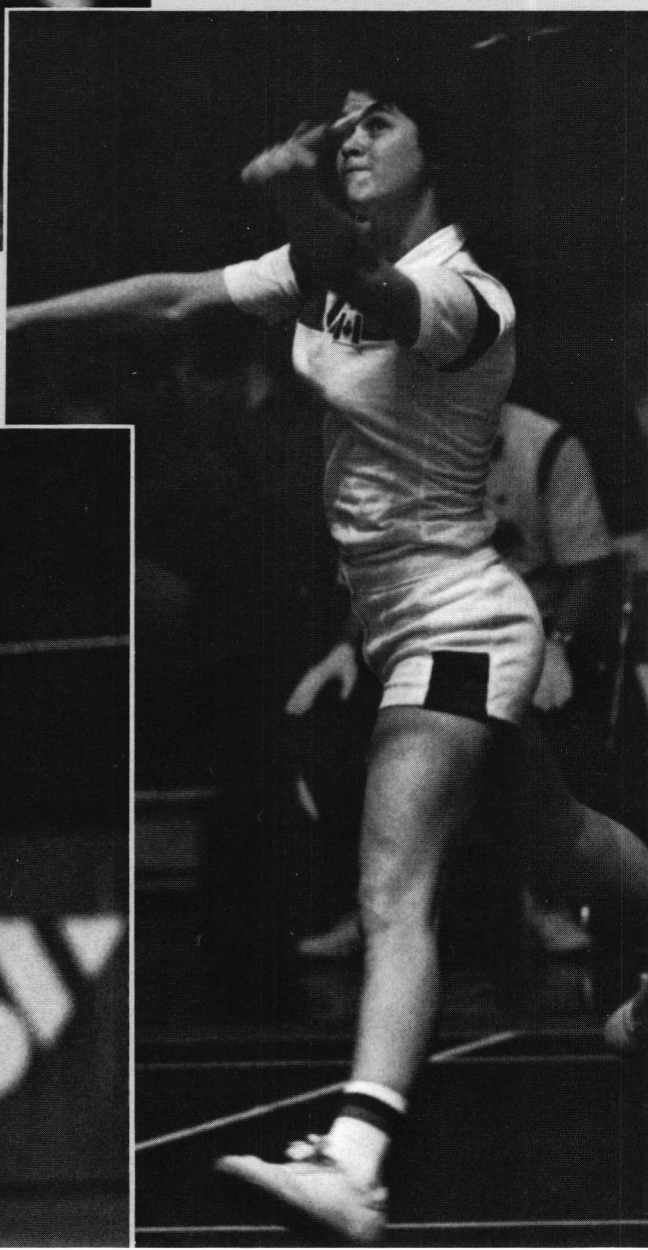
まったくいいところのなかったカーター・スキリングス組（カナダ）





こんなに調子の悪いカーターは初めて

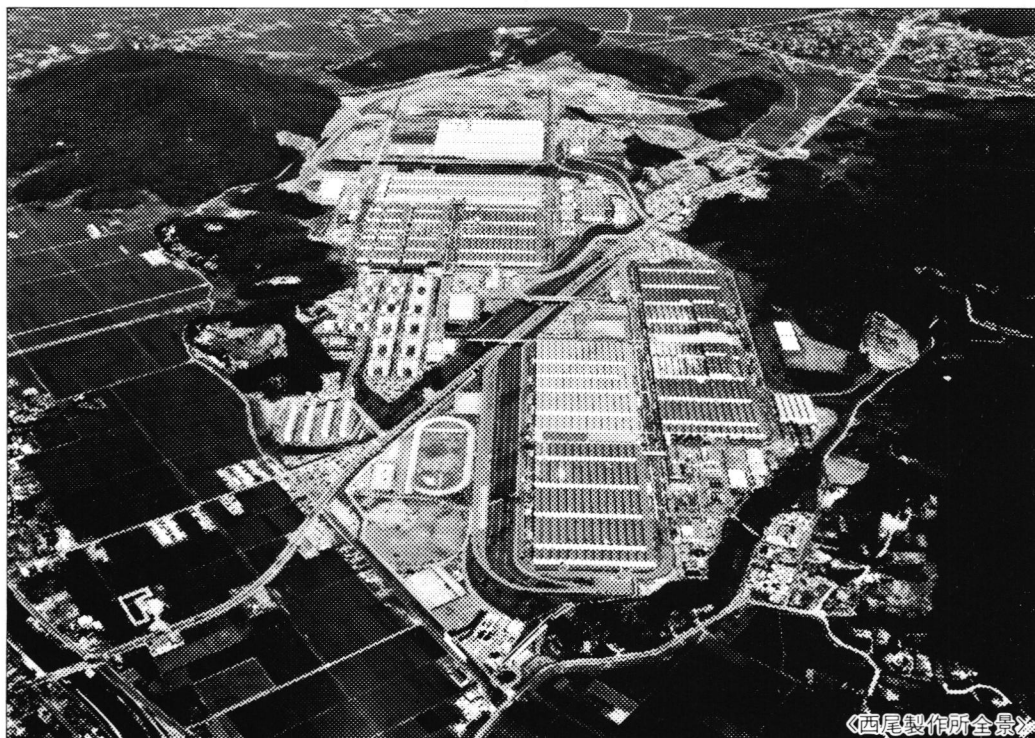
若いジュリアンにはちょっと重荷だったか



32歳のヤングバークは全力を出した

自動車部品の総合メーカー

長年積み重ねてきた、エレクトロニクスの技術を駆使して
自動車のエレクトロニクス化——
モータロニクスを進めるデンソー!!



《西尾製作所全景》

《営業品目》

- | | | | |
|-------------|-------------|-----------|----------|
| ●スターター | ●ディストリビューター | ●各種電子制御装置 | ●燃料噴射ポンプ |
| ●オルタネーター | ●マグネトー | ●排気ガス浄化装置 | ●各種メーター |
| ●ダイナモ | ●ホーン | ●カーエアコン | ●ラジエーター |
| ●レギュレーター | ●ワイパー | ●カークーラー | ●スパークプラグ |
| ●イグニッションコイル | ●ウインドウォッシャー | ●カーヒーター | ●フィルター |



日本電装株式会社

本社／愛知県刈谷市昭和町1-1 (〒448) TEL 刈谷(0566)22-3311



日本 VS カナダ

カナダにスキとえず 日本完勝の「V」宣言

カーターら強豪が不振

●5月23・24日（京都府立）

日本 9 単 5-0
複 4-0 0 カナダ

▼第1日目

近藤小織 2
11 11
1 2
0 カーター

所要時間…第1ゲーム8分

米倉よし 2
11 11
7 6
0 ヤングバ
子

所要時間…第1ゲーム13分

徳田敦子
米倉よし 2
15 15
3 2
0 スキリン

所要時間…第1ゲーム10分

近藤小織 2
15 15
1 5
0 グバツ
高田幹子 クハウス

所要時間…第1ゲーム10分

▼第2日目

近藤小織 2
11 11
3 2
0 ヤングバ
子

所要時間…第1ゲーム7分

米倉よし 2
11 11
7 5
0 カーター

所要時間…第1ゲーム10分

徳田敦子 2
11 11
0 4
0 ジュリア

所要時間…第1ゲーム14分

近藤小織 2
15 15
1 2
0 スキリン

所要時間…第1ゲーム12分

高田幹子 2
15 15
1 2
0 グバツ

所要時間…第2ゲーム10分

徳田敦子 ヤングバ
子 子

米倉よし 2
15 15
5 2
0 グバツ
クハウス

所要時間…第1ゲーム9分

第2ゲーム13分

日本の初戦の対戦国として、
カナダは格好の相手のはずだっ
た。

万が一に不覚をとる危険性は
少ないし、シングルスにカータ
ー、ダブルスにヤングバグ・
バックハウスという世界のベス
ト8に入るトッププレイヤーが
いるのだから、決勝に備えてコ
ンディションを整えるには絶好
のクジ運だった。
しかし、一番警戒しなければ
ならなかったカーターが、ここ

数年の最低の出来、昨年の世界
選手権、今年のジャパンオーブ
ンと2連勝している米倉に対し
ても、凡ミスを重ねる覇気のな
いプレーでストレート負け。

ヤングバグ組に至っては、
まったく試合にならないお粗末
さで、予想以上の日本の楽に終
わった。

カナダは、数年前からウェワ
トナール（現イギリスチーム・
コーチ）を、今年はかつてトマ
ス杯で活躍したチャナロン・ラ
タナシヤンスワンをコーチとし
て迎えるなど強化を図ってきた
が、その成果がまったくといっ
ていいほど現われていない。
日本に対し、最も健闘したのが
32歳のベテラン、ヤングバグ
なのだから驚く。

ヤングバグを2番手で使わ
ざるをえないほど、若手の進境
がないということだ。

いかに1回戦とはいえ、片や
アメリカゾーンを代表するカナ
ダ、片やアジアゾーン代表する
アラビシアがこのような試合を
繰り返し、ユーバー杯の名
が泣こうというもの。

せっかくバドミントン熱が盛
り上がりとする大試合の幕明
けがこれでは、さあこれからと
いうときに水を差されたような
ものだ。

しかし、それだけ日本とイン
ドネシアにスキがなかったとい
うこと。
これにイギリスを加えた26日
からの争いが、真のユーバー杯
の開幕である。

長い闘いは終わった 本当にご苦労さま

てごわかったインドネシア

ユーバー杯は終わった。
日本が、2期連続5回目の王座を死守して。

数々のドラマを生み、幾多の教訓を残した一大イベントであった。

戦前から予想された「日本不利」という一部の声をくつがえして、大和撫子は本当に良く戦った。

まさに「死守」という表現がぴったりする形相で戦った。

日本危うしという場面を何度も迎えながら、それを見事にはねのけ、土壇場ではかならずといていいほどの「大和魂」を見せてくれた。

日本のアマチュアスポーツの最後の砦でもあった。

日本選手の、プレー中の表情が、青春のすべてを賭けた戦いだったことを如実に物語っていた。

国内の大会では絶対見られないような、ときには相手を噛みつきそうに、ときには今にも泣き出しそうに、そして歯をくいしばって堪える表情は全観衆の気持を引きつけるに十分だった。

出場した四選手、徳田、近藤、高田、米倉にとっては、観衆の見た通り「青春を賭けた松舞台」であった。

NHKで放映されたダイジェスト版を見た、バドミントンにまったく無知な人さえも「あの表情を見ていると、バドミントンを単なる羽根つきというわけにはいかない。あの顔を見ているだけで、どんな苦しい練習に堪え、生活のすべてを賭けているかが分る」ともらしたほど。

前回、ジャカルタでユーバー杯をインドネシアから奪還してからの三年間は、五年にも十年にも匹敵する苦しい日々だったに違いない。

とくに、この一年間は半分以上を強化体制の下に置かれ、年頃の女の子らしい生活など味わえる暇さえなかっただろう。

米倉を除く三人は、この大会を境に第一線から退くという。

徳田、近藤、高田は、それぞれ現在の職場を辞め、また新たに人生を出発する。

人生の節目に、ユーバー杯を選んだのだ。

「勝ちたい」「負けられない」のあの表情は、彼女らの「青春の表情」そのものではなかったか。

恐らく彼女たちの本音は、勝った喜びより、終わってほっとした気持の方が強いのではないだろうか。

地元開催だけに、各方面から大きな期待を背負われ、全英で敗れては不安を感じ、毎日毎日がプレッシャーとの闘いだっただろう。

日本選手は、相手選手と戦う以前に、もっとも警戒すべき心の中の敵に打ち克つていたのだ。そして、インドネシアも本当に強かった。

劣勢視されていたダブルスを、ベラワティと若手のグマヤンティに組み替えることによって、見違えるような強力コンビを造り、全英チャンピオンのイギリ

スベアをも破り全勝を飾った。

ベラワティは、インドネシアの「女王」の名に恥じない堂々とした試合ぶり、負けてなお強しの印象を受けた。

イバナ独りが、大試合の重圧に押しつぶされるように自滅していったのが、インドネシアの唯一の誤算。

それにしても、決勝の第一日目が終わった時点では、どちらに軍配が上がるか見当もつかない雲行きだった。

互いに死力を尽しての大試合だった。



日本選手のサイン

一躍、祖国のスーパースター

黄善愛に全英オープンのごほうび、毎月6万ウォンの年金が

サンタクララで勝てば倍増も

お隣の国である韓国の黄善愛選手が、全英オープンの子シングルスに初出場、初優勝したことは、バドミントン・ファンならとくにご存知の事実である。

しかし、その黄善愛選手を含む劉団長（韓国バドミントン協会会長）以下6名の一行が帰国してからの後日談には、全英優勝にも優るとも劣らないなかなか興味深いものがある。

一行を迎える国民の熱狂ぶりは、われわれ日本人の感覚をはるかに越え、帰国するや空港からオープンカーでのパレードに始まり、テレビのワイドショーへの出演、全斗煥大統領との昼食会と、まさにスーパースターの扱いを受けたという。

そして、そのモテぶりの極めつきは、黄選手に驚くなけれ国から年金が支給されることになったということ。

金額は約六万ウォンというから、日本円に換算すると三万円余り、さほど高額とは思えないが、生涯を通しての保証なのだから悪い話ではない。

しかも、七月下旬にサンタクララで行われるワールドゲームスに勝つと、二倍にも三倍にもなるといふ。



因みに、韓国の大学卒の初任給は日本円にして6万から7万円が相場。
まだ19歳の黄選手なら、これからの実績次第では、どれだけこの数字が伸びるかは見当もつかない。
日本人から見れば、異常なモテ方といわざるを得ない。
が、これだけ国の評価を得たといっても、まったくその下地がなかったわけではもちろんな



それは大変な歓迎ぶり

い。
その引き金となった最大かつ唯一の要因は、全英オープン
のテレビ中継にあったと断言して
も過言ではない。
テレビ中継されるには、それ
なりの勝算、活躍を見込まなけ
ればできるものではないから、
韓国バドミントン協会ならびに
体育協会、また放送局など各方
面からの期待と目論みが確かだ
つたを見逃がしにはできない。



時の人となった金コーチ

しかし、何といってもそのレ
ビ中継の反響の大きさが、異
常な「モテ方」の決め手となっ
たことはいうまでもない。
テレビ放送は、衛星録画で深
夜に流された。
深夜といえは、戒厳令のある
韓国では外に出歩く者はいない。
国民のほとんどが、黄選手の
全英制覇を固唾をのんで見守っ
ていたわけだ。
反響が小さいはずがない。
韓国人の世界チャンピオンは

ボクシングを除けば稀有に近い。
一夜にして国民的英雄に祭り
上げられても、何ら不思議はな
い。
しかも、用意周到なテレビ局
は、あらかじめ黄選手の家族を
局に待機させ、優勝と同時に喜
びのインタビューを開始するな
ど、その扱いはまさに「シンデ
レラ」だった。
パリ見物のご褒美をもらって
帰国してみたらオープンカーに
1人1台乗せられ体協まで凱旋

パレード。
後は、冒頭のようなスーパ
スターとなった。
日本にとって、末恐ろしいラ
イバル国となるのは確実である。
韓国の、今後の国の援助、バ
ドミントン熱の高まりは容易に
想像できる。
「無冠の帝王」中国を迎え、
日本、インドネシア、そして韓
国が激突する次期ユーバー杯は、
史上空前のものとなるであろう。

韓国チームのマネー ジャーはなんと日本人。 平井克英さんだった!!

そして、もうひとつ韓国選手活躍の陰にある事実を、われわれ日本人は見落としてはならない。

それは、ヨーロッパ遠征の韓国チームのマネージャーが、日本人であったということ。

実にユニークな事実である。

その人は、平井克英さん。

読者の皆さんの中には、昨年4月号に掲載された「激突、中国VSインドネシア」という特報記事があったのを覚えておられるだろうか。

その特派員だったのが平井さん。

本誌とも因縁が深いのだが、その平井さんが日本人でありながら、韓国チームのマネージャーとなつて、遠征中の選手の世界を焼き、通訳となつて縁の下力持ち的な役割りを果たした

のだ。

愉快な話ではある。

平井さんは、富山県上市高、慶応大出身の33歳。一貫してプレーヤーとして活躍され、カワサキラケット入社後、社会人大会では「全盛期の秋山真男」とベスト4入りを賭けてファイナルゲームを戦った「こともあ

るほどの腕前。

昭和30年には、全日本実業団の混合複で元ユーバー杯選手柴山きよ子さんと組んで優勝という輝かしい成績も残している。

バドミントンが好きでインドネシア語を独学、ほかに英語、韓国語にも堪能、東南アジアの

バドミントン事情に通じ、プレーヤーとの親交も深い。

現在は独立して貿易業を営むことから、月に1回は韓国を訪れ、金コーチとは親友というこ



平井克英氏

とからこの度の大役が回つてきたらしい。

アジアを股に掛ける平井さんも、初めてのヨーロッパ、しかも大役を果たして、今度ばかり

は「疲れた」といふ。

また平井さんは、東京女子体育大学のコーチとしても活躍中、大学の試合ともなればベンチへ入り、スカウトとして東奔西走

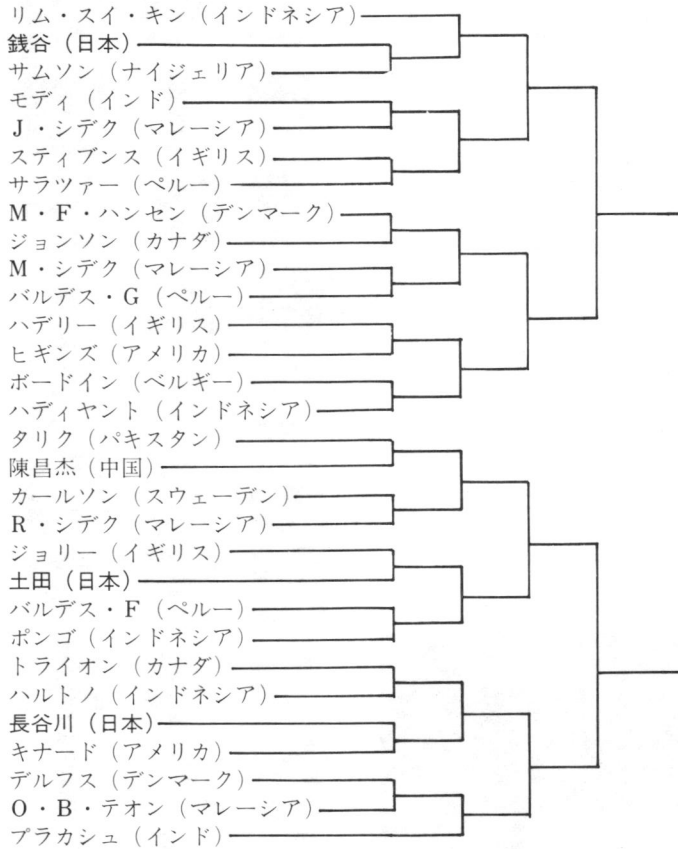
するなどオイソガ氏

黄選手優勝の陰の力となったこのユニークな平井克英さんに大きな拍手を送りたい。

ワールドゲームの 組み合わせ決まる

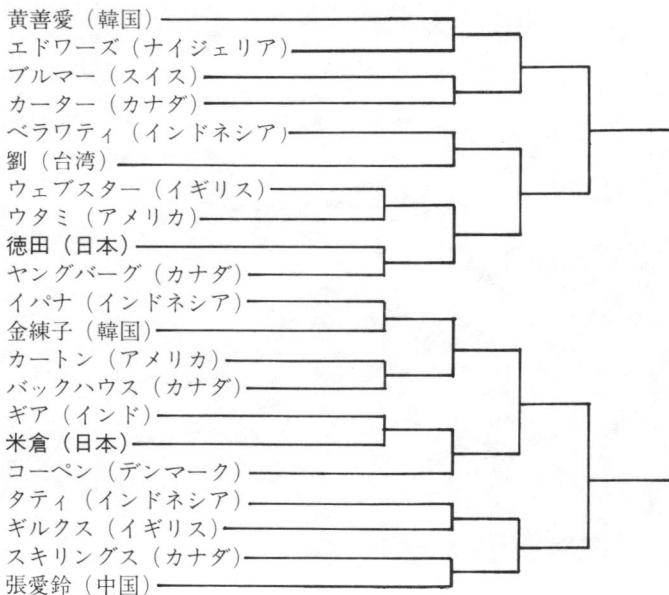
7月25～28日
サンタクララ

◎男子シングルス



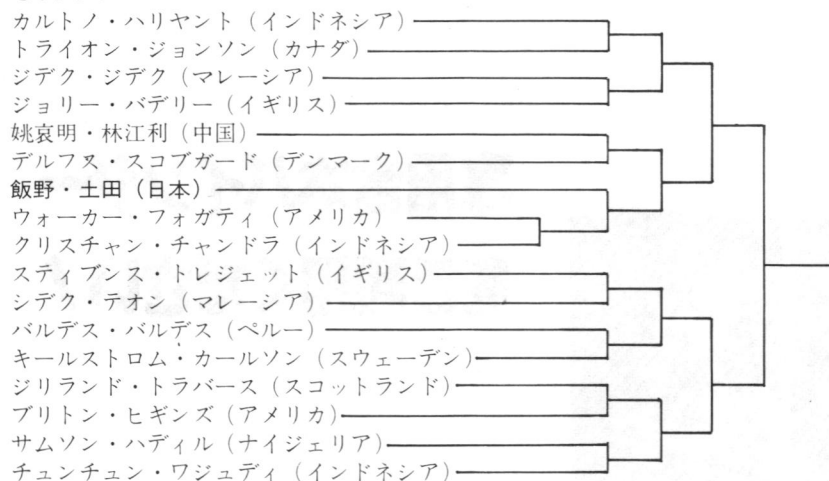
★7月25日から、7月28日まで、アメリカ・カリフォルニア州サンタ・クララで開かれる「第1回・ワールドゲーム」の組み合わせが決まった。銭谷は2回戦

◎女子シングルス

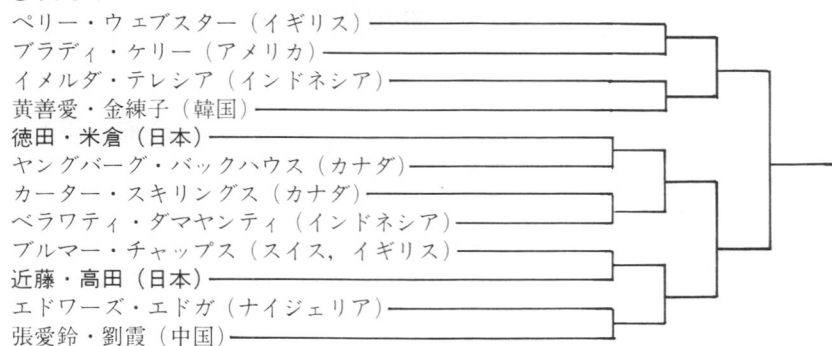


でリス・スイ・キンという不運。IBFとWBFの統合後、初の大会。インドネシア対中国、さらにヨーロッパ勢の激突は興味津々。

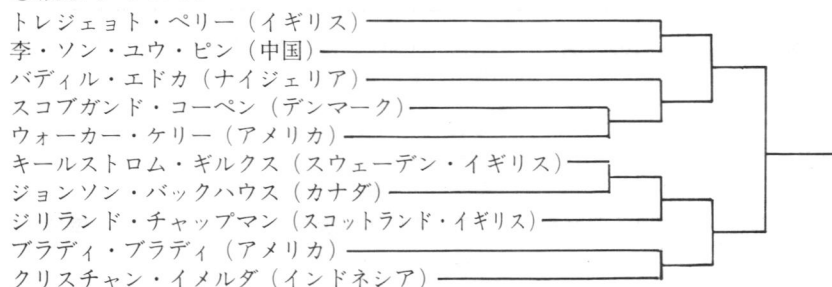
◎男子ダブルス



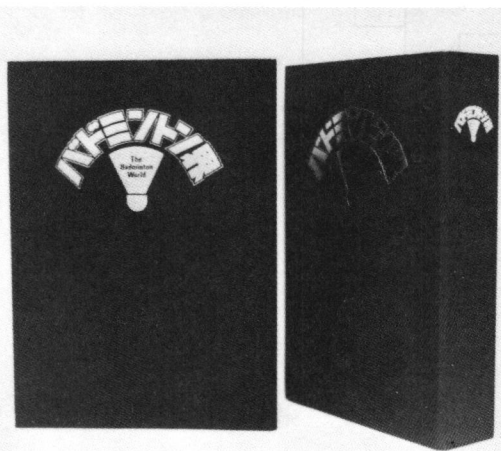
◎女子ダブルス



◎混合ダブルス



専用合本バインダー をご利用ください!



〈バドミントン界専用合本バインダー〉

表紙＝黒色レザーにタイトル銀バク押し

金具＝特殊クリップ使用

送料＝1冊350円、3冊まで都23区400円第一地

帯500円第二地帯650円第三地帯800円

お申込み方法＝1冊定価 700円に、送料を加

えて、本誌巻末とじ込みの振替用紙に
必要事項を明記のうえ、お近くの郵便
局からお申し込みください。

本誌は毎月発行ごとに保存しておけば、バドミントンの百科辞典となるものです。そのために本誌1年分12冊を、穴をあけたり、ノリを使ったりすることなく、かんたんに、しかも長い年月にわたって保存しておくことのできる“専用合本バインダー”をつくってまいりました。

しかし、用紙、レザーをはじめとする資材の値上りにより、このたび定価を1冊700円に改定させていただきます。まことに申し訳ありませんが、ご了承のほどお願いいたします。〔本誌綴じ込みの振替用紙には旧定価＝500円と印刷してありますが、訂正のうえご利用くださるようお願いいたします〕

バドミントン界 The Badminton World

1981年6月号 ©1981 通巻第140号

写真植字／サカキバラ写植、創研

印刷・製本／根岸印刷

◇本誌の記事・写真等を許可なく転載・複写することを
禁じます

定価＝300円 1年間予約購読料＝3000円(送料共)
振替＝東京8－10737

昭和56年6月15日発行

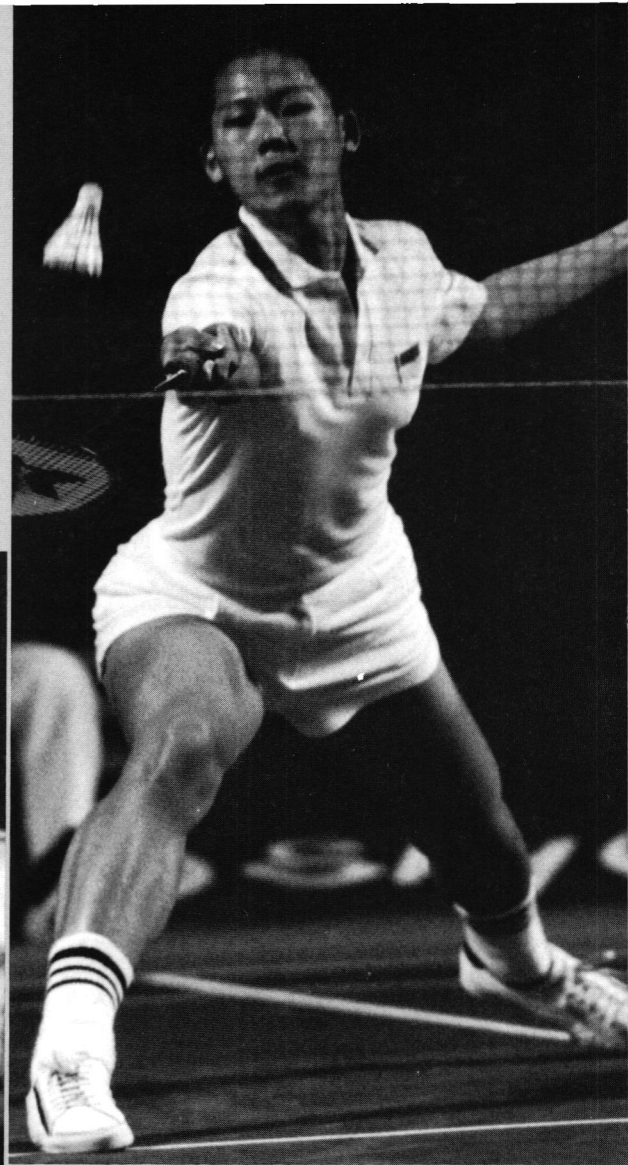
編集兼発行人／赤星三樹

発行所／赤星出版株式会社

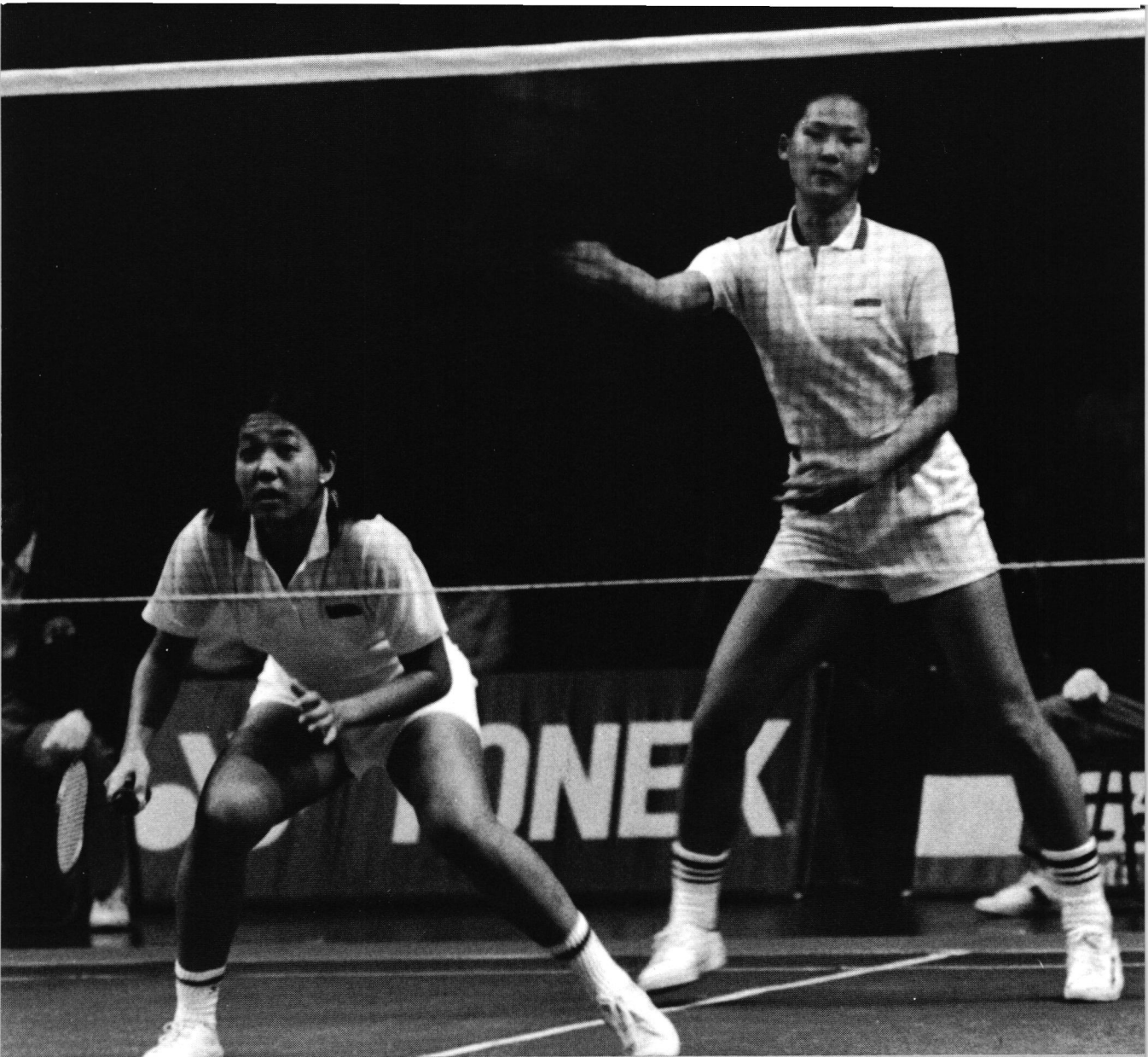
東京都目黒区鷹番2－8－22－205 152

☎03－712－6952

“インドネシアの女王”らしい風格を漂わせたベラワティ



よくやったベラワティ



最強コンビ誕生

全英チャンピオンを倒して嬉しそうなベラソティ・ダマヤンティ組

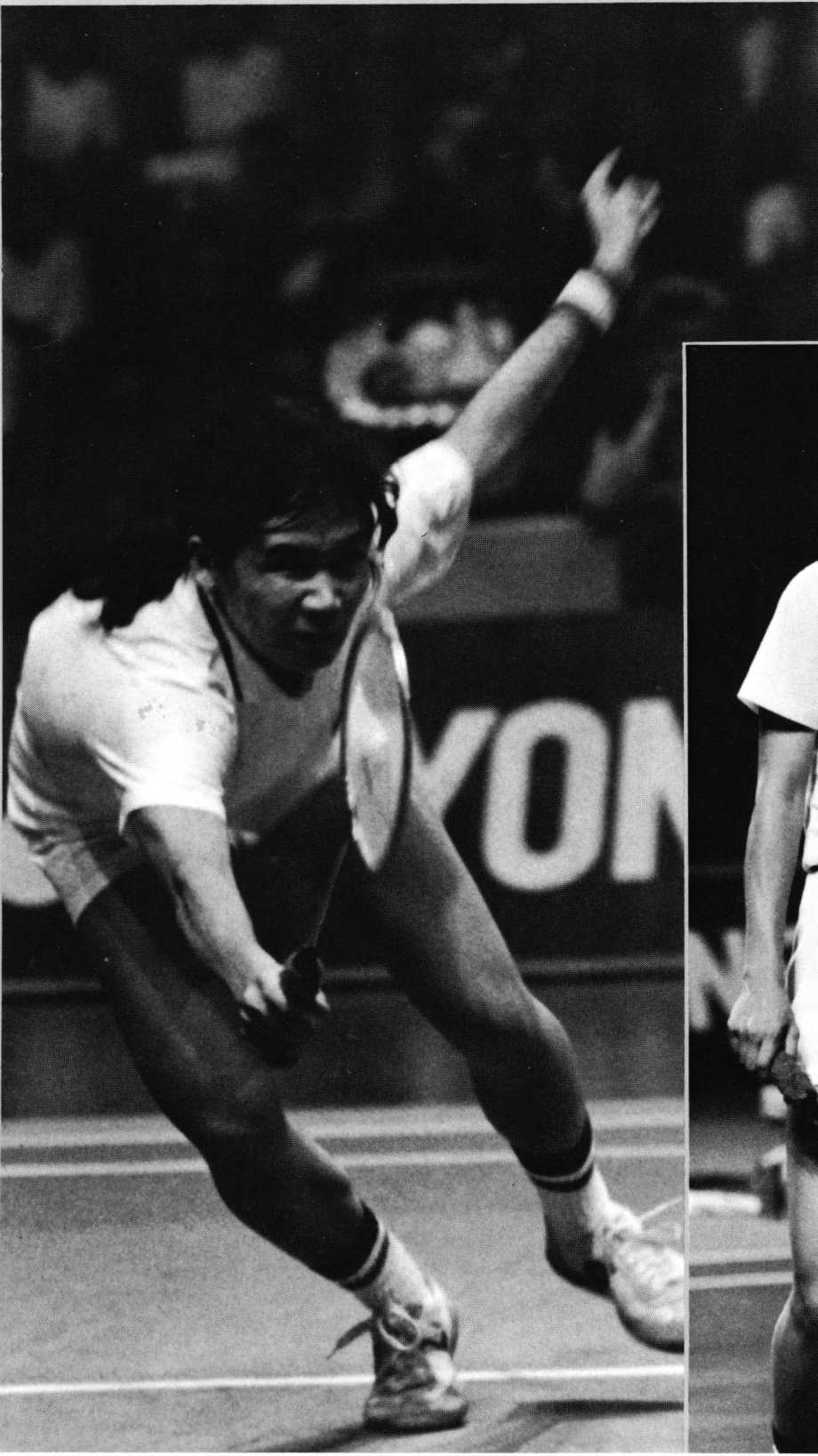




威力があったダイヤモンドのスピンスービス

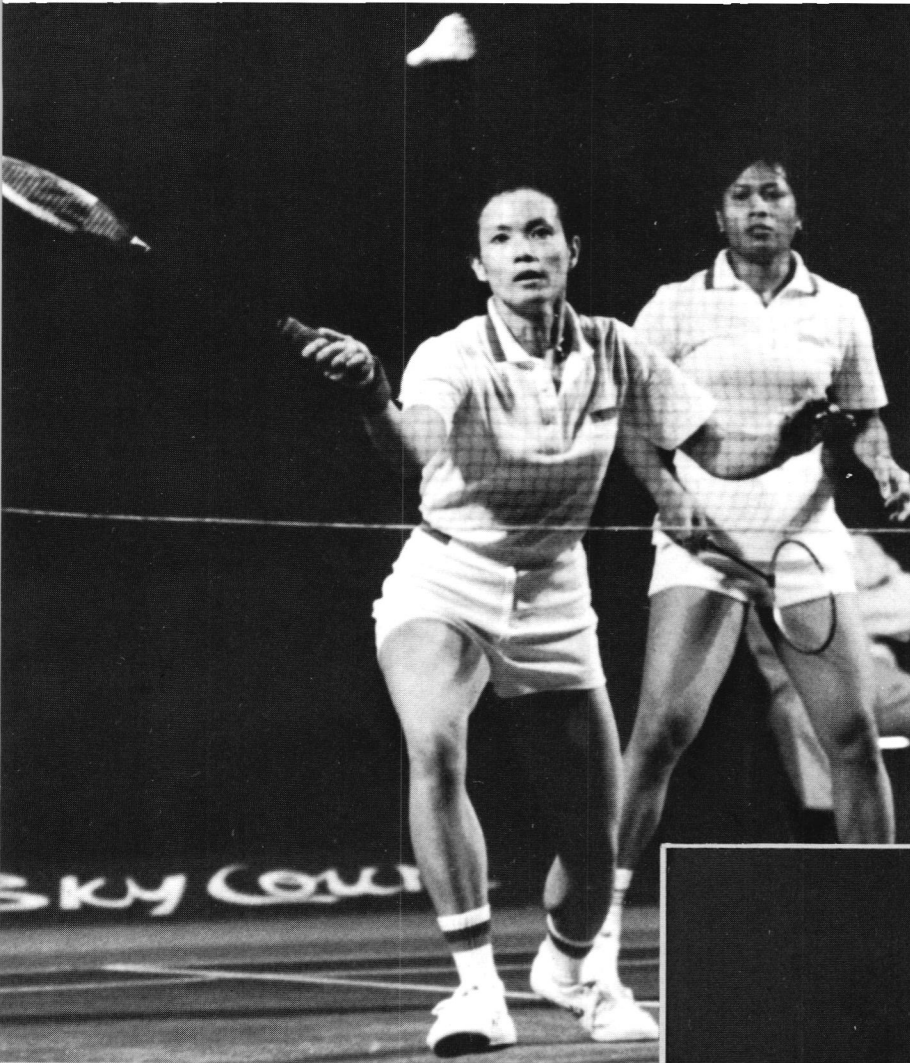


イバナの目に涙



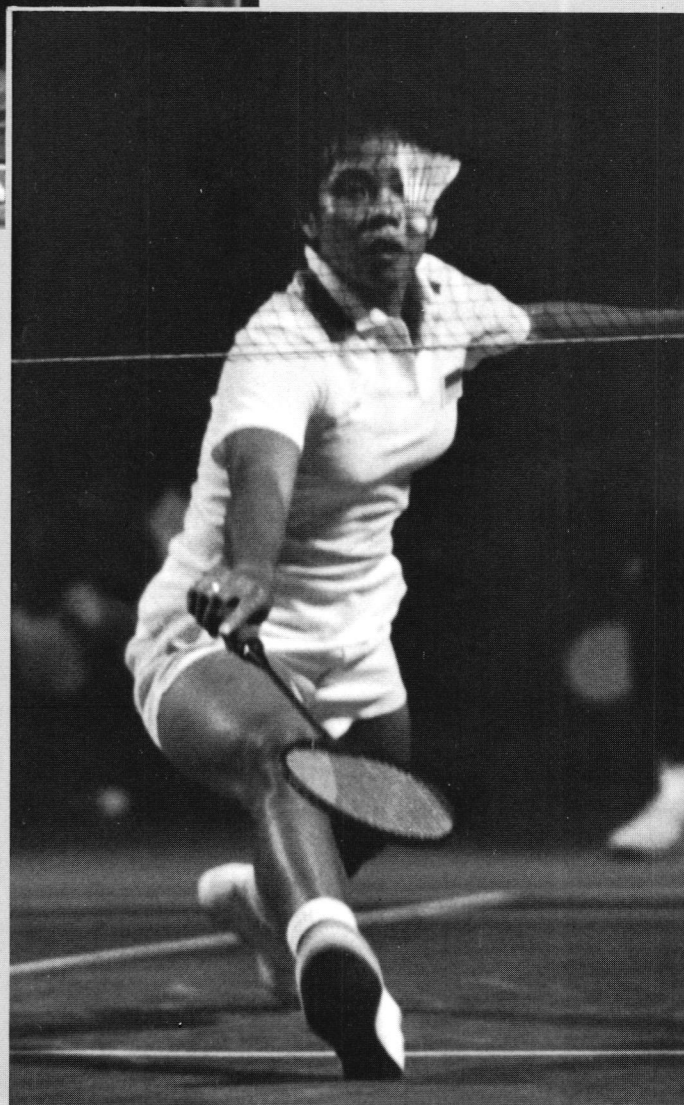
苦痛にゆがむ顔、イバナ





ベテランぶりをいかんなく発揮したイメルダ・テレシア組

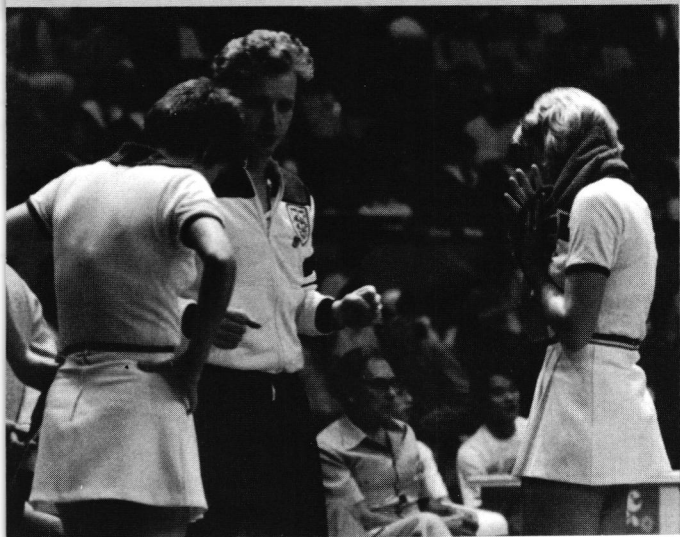
タティスミラ（インドネシア）
も最後の力をふり絞ったが……

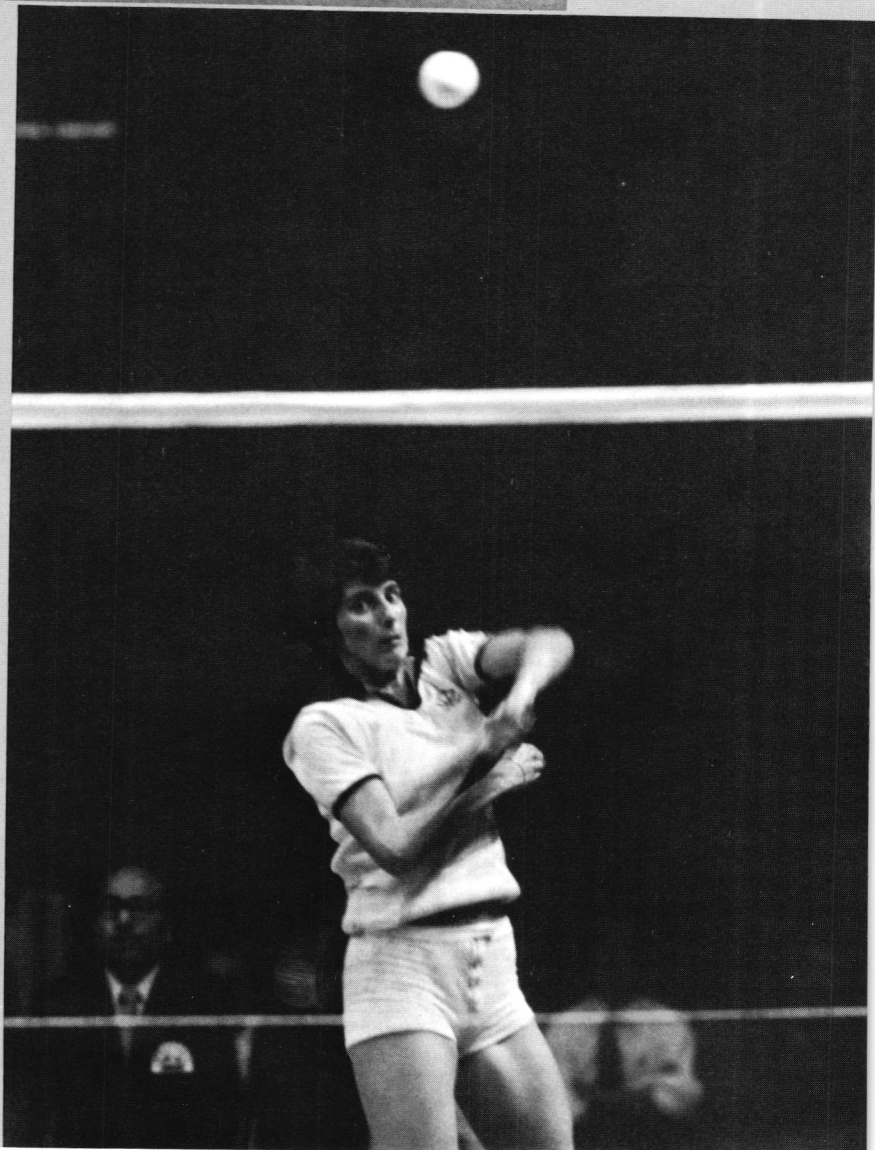


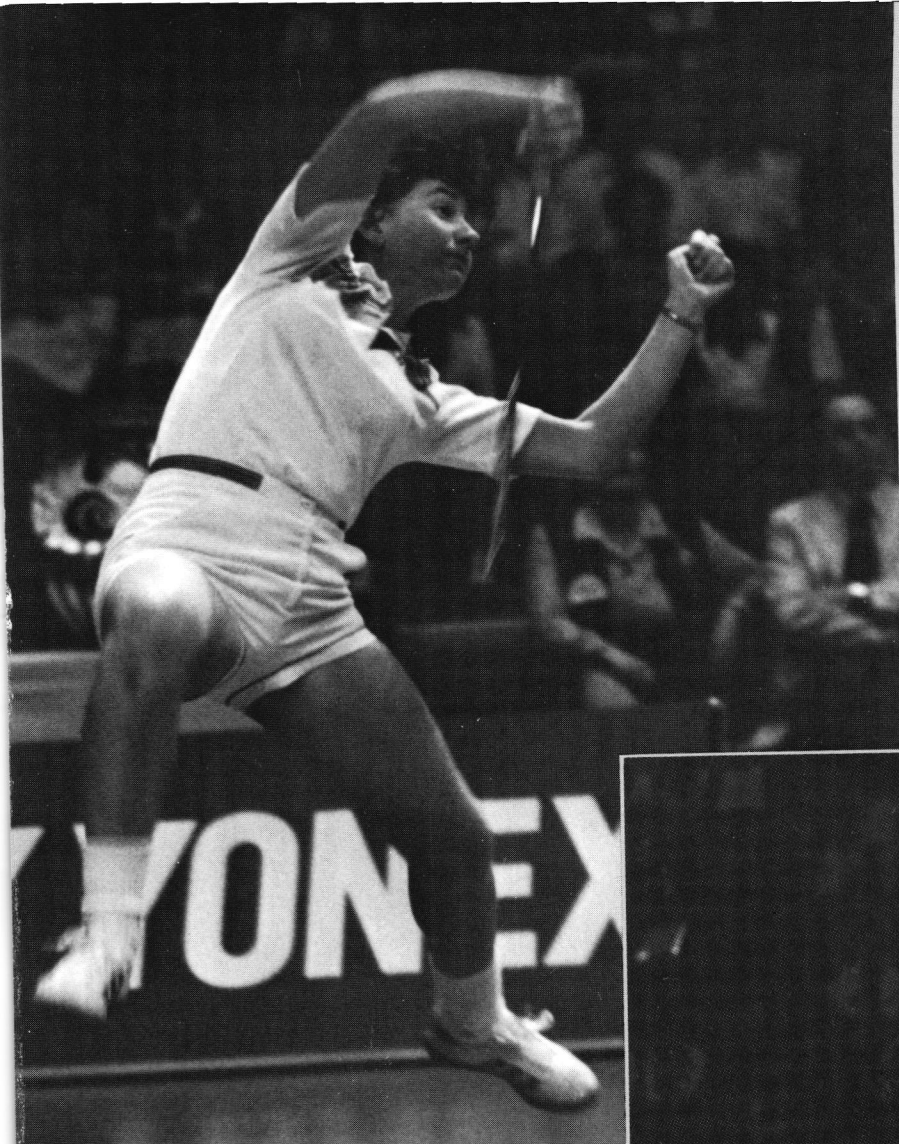


イギリスチーム

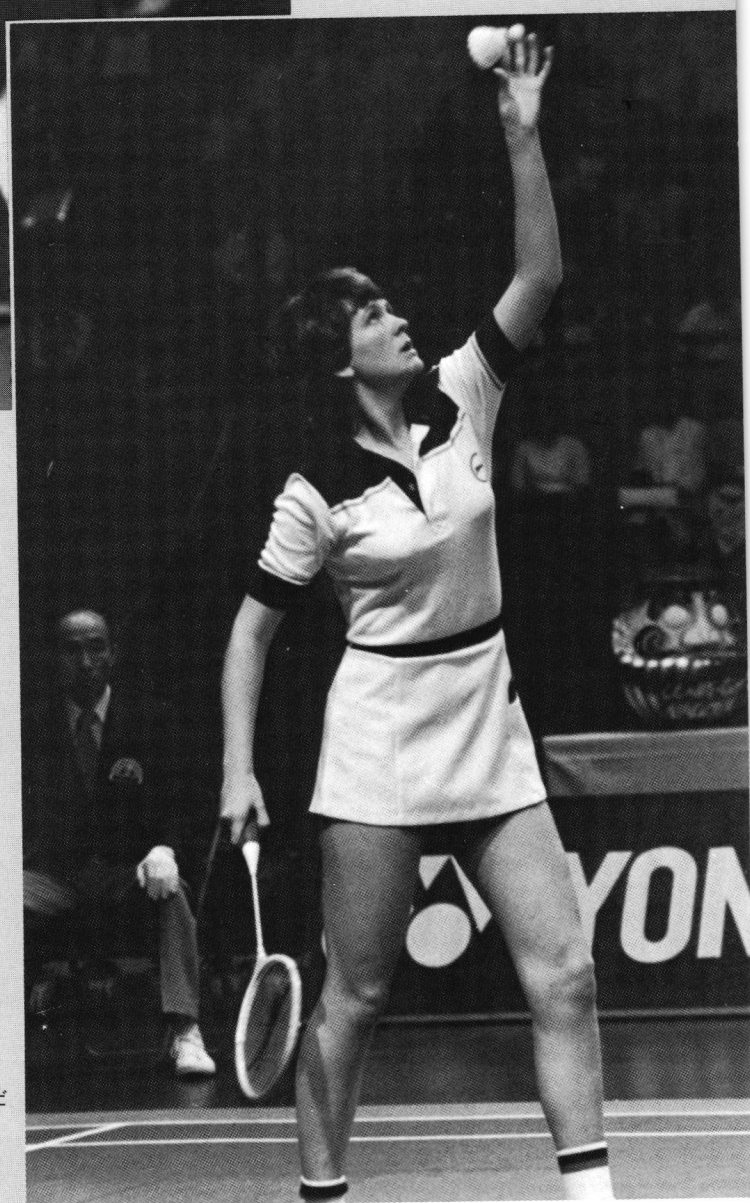
ベリー・ウェブスター組の思わぬ苦戦に
ウェットナール・コーチも乗り出した







プレッシャーに押しつぶされた格好のリードビーター



ブリッジの活躍でイギリスは最終戦まで持ち込んだ



DEFI

イタリアからColor Liberation最新版の到着。
新鮮デフィ、新発売。

正統コットンホワイトのほく。ところが、
きょうのパートナーは、イタリアから新着
のデフィの Polo。伝統の優れた機能性に、
ファッショナブルなイタリアンフィーリ
ングをコーディネートしたNewデフィと
は！ 鮮やかなイタリアンカラーが、とき
にローマの華麗となって、ときにフィレ
ンツェの繊細となって、コートを舞った。
きみは、コートのウィナーになる前に、恋
のウィナーになってしまうぞ。

 **kawasaki**
カワサキ株式会社

リム・スイ・キング
Liem Swie King

●78・79・81全英バドミントン選手権優勝

「惚れこんだ。」

新発売

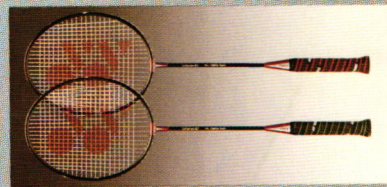
Carbonex10

セビア

カーボンとアルミ合金の複合フレーム<CAB-10>

カーボン

ダークグリーン



リム・スイ・キングの片腕。ヨネックス。

またまたコートに、凄いヤツの登場です。ラケットも、ついここまで来たのか！という声につつまれて、全身カーボンのカーボネックス10。シャフトはもちろんカーボン。そしてフレームまでカーボンとアルミ合金の複合体。しぶといスト

ロークと、正確なコントロールを生みだします。スマッシュはあくまで鋭く重く、全てにおいてグレードアップしています。いってみれば、カーボンのなかのカーボン。他を寄せつけない存在です。ますます面白くなってきたぞバドミントン。

YONEX®